## はじめに

「ワクチンPro」のご購入誠にありがとうございます。

本作品はFilemakerのカスタムアプリです。作成者は小児科開業医での25年間で、様々な医療業務をデジタル化した電子ルテをFilemakerで作成していました。「医療のデジタル化」を目指す人のお役に立てればと願い、ワクチン部門を分離しました。分離前から発注納品、予約、当日接種ロット記入、Web上の予約画面作成、様々なメール配信、月々の公費請求書作成に至るまでほとんどの作業をデジタル化していました。ワクチンProは、それを汎用化してセッティングしやすくしています。

何より、ノンプログラミングあるいはロープログラミングで特別なプログラム言語の不要な日本語FileMakerを使用していますので、日本語で発展させることが出来ます。各医療機関で医療のデジタル化の障壁になっています、クリニック間の物理的な環境での業務工程の変更、地域間で変化の激しい公費請求などをFileMakerを用いることにより、独自開発できるようになります。ワクチンProは各医療機関でのカスタマイズが可能です。もともと作者は初心者から作っていますので直感的でわかりやすい構造となっています。

最初のみ少し複雑さは感じるかも知れませんが、ちょっと面倒なセットアップさえ終わればワクチン業務が楽しい業務となることでしょう。

私のクリニックではスタッフがほぼ独立して操作して、ほとんど医師の手を煩わさなくなったアプリケーションですので、スタッフの間でも短時間で習得し実際の業務が出来るものと確信しています。開業医時代には外来で時間40~50人でも安全に1人もミス無く出来たアプリです。

昨今の新型コロナの流行でますますワクチンの重要さが際立っています。小児科のみならず、内科などの大人を扱う科でも医療の重要なサービスの1部門として提供体制を構築する必要があります。またデジタル化し、対象人数を広げることによりすることにより、医療機関の大きな収入源としていくことも出来ます。

ぜひ、ワクチン Pro をあなた自身のの医療機関のデジタル化の第一歩にしていただきたいと思います。

ホスティングサービス(Filemaker 専用)の利用にしますか?自力で運営しますか?

#### ネット環境を作ったことのない方

ワクチンProは初期は簡単に取り扱える様にするため、ホームページ運営の経験が無い方は、ホスティングサービスの利用をお勧めします。

#### ネット環境を自前で作れる方

自院ですでにサーバがあり、ホームページや電子カルテを独自ドメインで利用している場合やファイルメーカーのデベロッパーにお任せする場合は是非ともオンプレミスで利用してください。オンプレミス上はインターネットを挟まないためワクチンProを最も高速で利用出来ます。その際には、

- ◎クラウドあるいはオンプレミスでのホームページなどのシステムを構築済みあるいはその技術に精通している。
- ◎ファイルメーカーサーバーを立ち上げ運用していく、時間あるいは技量があること。

が必要です ※オンプレミスとは、自社内でサーバやソフトウェアなどの情報システム設備を設置し、自分たちで運用することを指します。

ワクチンProは、メール配信やWebの受診予約機能などを、操作に慣れてからにしても充分 ワクチン業務を取り扱える機能を持っています。使用当初はイントラネット(院内のネットワーク)のみで使って、将来的にインターネットと繋げてオンプレミスに発展させるのが最もお勧めです。

ファイルメーカーにまだ不慣れな方、あるいはそこまで時間をさけない人には、自力運用はおすすめしません。そのためネット上の事は専門の会社にお任せする前者のファイルメーカーホスティングサービスに任せて、簡単な基本ソフトであるファイルメーカーに集中してください。自力運用は時間とお金を必要とします。また、長年にわたる根気の必要な運営になります。ファイルメーカーは特別なプログラミングを必要としない一般に優しいソフトです。ので、ファイルメーカーを利用するだけであれば今日からあなた自身で、仕事をデジタル化いくことができます。その一歩としてワクチンProがお役に立てれば私もこの上無いことです。

ワクチン Pro ではメールの送受信をサーバーサイドで行うため、ファイルメーカーのプラグインを使用しています。現在、クラリス社が扱っている FileMaker Cloud ではプラグイン自体利用出来ませんのでクラウドでご利用の場合は、その他の商用の FileMaker のホスティングサービスを利用してください。

例としてホスティングの会社(株式会社ユニティップス)で最も低価格の「FMHost ライトプラス」を利用し<mark>試運転</mark>してみましょう。取り扱う患者の数や従業員のファイルメーカーを使用する数によりコースのアップグレードを考えてください。サーバーコースのアップ自体はすぐにしてくれるようです。運営費として最低限の次の費用がかかります。サーバーライセンスとして下記にて導入可能で、ワクチン名人を扱う運営側としてユーザーライセンスも5名が付いてきます。(図)

FileMaker Server ユーザーライセンス価格 (5ユーザ)

年間 96,000円 (月額換算 8,000円)

FMHost「ライト」「ライトプラス」はサーバーのスペックが小さいため、3週間~1ヶ月に1度のサーバーダウンがあるようです。そのときはファイルメーカーサーバーの再起動をホスティング会社にお願いしてください。(2021.2月現在は週1回の再起動がこちらの都合に合わせて出来るようになっています。本稼働時にはエントリー以上、あるいは他者のサービスを考慮してください。クラウドのスペックは必要に応じて短時間で変更してもらえます。

ワクチンProは患者登録や情報提供サイトはサーバーサイドスクリプトを利用して、ほぼ自動でネット上で運営を行うことが出来ます。具体的にはマニュアルで後述しますが、患者情報の登録変更、予防接種の予約、ワクチンの履歴や予定を見るといった機能があります。そのためある程度の同時接続の数が必要ですが、クリニックレベルでの運営なら同時接続ライセンスとして5名あったら充分でしょう。

#### 回線の種類について

クライアントの環境ではADSL回線ではなく<mark>光回線を勧めます</mark>。何度もデータの出入りを伴う「予約Robot」ではっきりした遅延が認められる場合はiPadをワクチンPro専用に使用してください。

ホスティングサービスを利用する方法(例として FMHost プライベート「ライトプラスタイプ」を利用)

例として、https://fmhost.jp/ で「ご利用までの流れ」をクリック(次ページ)にて「ライトプラス」

### の無料トライアルコースを選択していきます。会社の HP に沿って進めていきましょう。(図)



## 上記の申し込み後に、サイトの準備が出来たことを知らせるメールが来ます。(図)

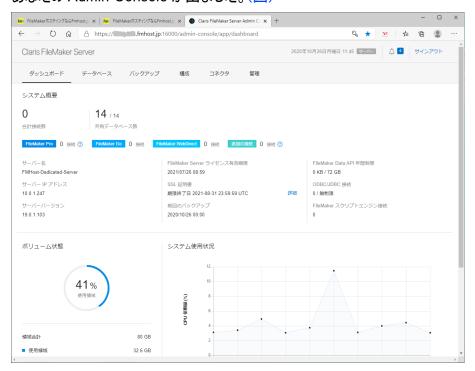
■ FileMaker Server 接続情報 Admin Console 接続URL: https://..............fmhost.jp:16000/admin-console < Admin Console 初期ログイン情報 > ※ログイン後ご変更お願いいたします。 名前 : fmhostuser: パスワード: fmhostuser2 ご利用方法につきましては、ユーザガイド ( https://fmhost.jp/guide/start/ ) を ご確認していただければ大丈夫かと思いますが、ご不明点がございましたら お気軽にご連絡いただけますよう何卒よろしくお願い申し上げます。 FileMaker Pro や FileMaker Go から木ストしたファイルを開くときのネットワークファイルパス fmnet:/fmhp273.fmhost.jp/{{木ストしたファイル名}} WebDirect でアクセスする時のURL (※高負荷機能のためライトプラスではWebDirectを標準オフにしておりま す。) https://fmhost.jp/fmi/webd カスタムWeb等で外部のサーバーからXMLリクエストを行う場合のホスト名 https:// \_\_\_\_\_ ■ FTP接続情報 プロトコル: FTP-SSL (Explicit AUTH TLS) もしくは FTP ポート: 21 

まず、ファイルメーカーサーバーの Admin Console を出してみましょう。メールに記載されている Admin Console 接続 URL に接続します。Admin Console 初期ログイン情報の名前とパス ワードを入力します。詳しくは同サイトのユーザーガイドを見てください。(図)



パスワードのヘルプ

## あなたの Admin Console が出ました。(図)



#### (重要)

Admin Consoleが立ち上がってパスワード変更などが終わってから、今度はワクチンPro独自の準備をします。患者がパスワードなしでサイトに入れるようにします。コンソール画面はこちら側では操作できないため、ホスティング会社に連絡して「パスワードなしのファイルも公開できるように」してもらいます。(FMHostプライベートでコンソール作業は会社側でしか利用出来ません。)

オンプレミスなどでコンソールが使える場合は以下のコマンドを実行してください。

fmsadmin set serverconfig securefilesonly=false

# 自社サーバにて利用する方法(つまづきそうなポイントのみ)

Claris FileMaker Server を自分の医療機関で利用するにはクラリス社の Claris FileMaker Server 19 インストールおよび構成ガイドを参照してください。

https://help.claris.com/ja/server-installation-configuration-guide/

私自身がつまづいたポイントのみ2点あげておきます。

◎FileMaker Server のための Windows および macOS のファイアウォールの設定(以下のサイト参照)

https://support.claris.com/s/article/FileMaker-

Server-%E3%81%AE%E3%81%9F%E3%82%81%E3%81%AE-

Windows-%E3%81%8A%E3%82%88%E3%81%B3-OS-

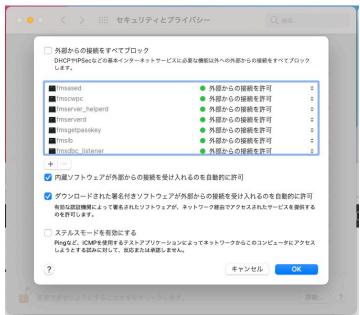
X-%E3%81%AE%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%82%A2%E3%82%A6%E3%82%A9%E

3%83%BC%E3%83%AB%E3%81%AE%E8%A8%AD%E5%AE%9A-

1503693091222?language=ja

#### <MacOS>

環境設定>セキュリティーとプライバシー>ファイアウォール のファイアウォールオプションで fmsased fmscwpc fmserver\_helperd fmserverd fmsgetpasskey fmsib fmxdbc\_listener を追加する(図)

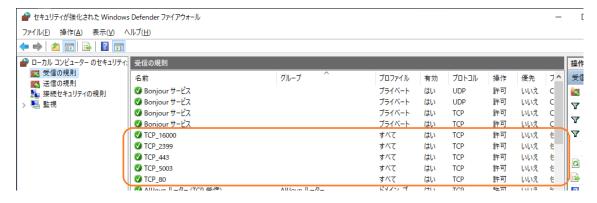


#### <WinOS>

コントロール パネル¥すべてのコントロール パネル項目¥Windows Defender ファイアウォール

の詳細項目の受信の規則で「80, 443, 2399, 5003, 16000」の TCP ポートを開く

#### (図)



## ◎オンプレミス時のルーターの設定

外部接続のルータにて静的マスカレードをのように https、5003、16000 を FileMkaer Serverno ローカルアドレスに送るように設定してください。(図)

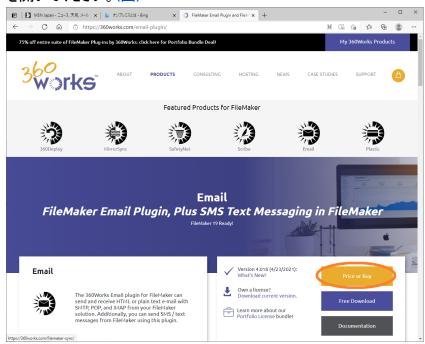


# メール送受信は360Works 社のプラグイン\_360Works Email \_を利用

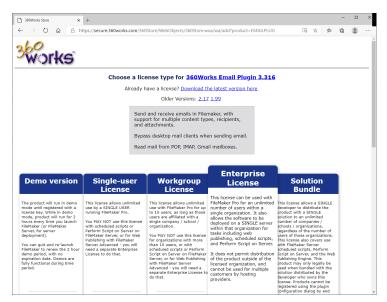
ワクチンProはメール送受信は一部を除いてプラグインを使用しています。(FileMakerは標準機能で電子メールの送信は可能なのですが、受信機能は搭載されていません。)Windows やMac双方で利用出来て、ファイルメーカーのアップデート時に対応の早い360Worksのプラグイン(360Works Email)を利用しています。360Works Emailの以下のサイト

https://360works.com/email-plugin/

## を開いてください。(図)

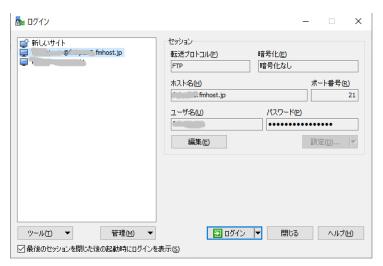


「Pricing or Download Demo」を押し、次の画面で Server で利用出来るように、「Enterprise License (この時点は395 ドル)」を購入してください(図)

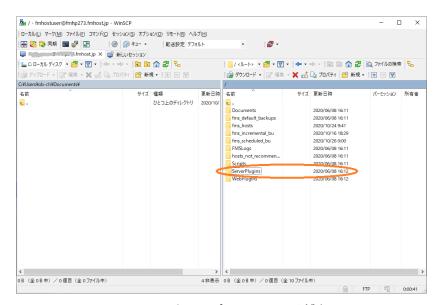


## <ホスティングを利用の場合>

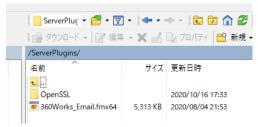
次にこのプラグインを FMHost に FTP にてセットアップします。ここでは WinSCP を使用しています。前述した申し込み後に送られてきた設定用のメール内容の FTP 用のサーバー名、アカウント、パスを入力します。(図)



画面が開いた所で、FMHost のサービス下 ServerPlugins フォルダを開きます。(図)



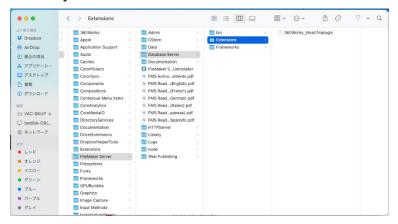
360Works\_Email.fmx64 をアップロードしてください。(FMHost のクラウドのこのコースは Wndows server on AWS を使用しています。)これでプラグインのセットアップは終了です。(図)



#### <オンプレミスを利用の場合>

#### <MacOS>

/Library/FileMaker Server/Database Server/Extensions に .fmplugin file を入れます。



### <WinOS>

C:\Program Files\FileMaker\FileMaker Server\Database Server\Extensions に .fmx64 file を入れます。

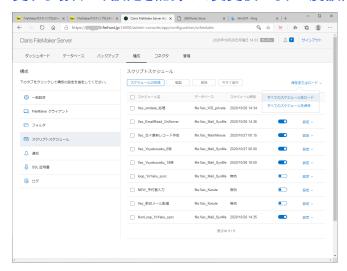


360works からもらった License Key と Registered To は後ほどわくちんのメニューでセットします。

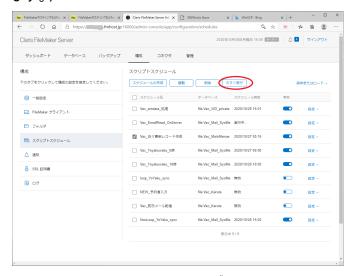
# サーバーのスケジュールをロードする。(添付の

fms19\_settings.settings)

スケジュールを作成します。Adomin Console で構成>スクリプトスケジュール>保存またはロードの「すべてのスケジュールをロード」で、添付の fms19\_settings.settings を選択してロードします。(図)※初期設定は完全アクセスとパスで設定しています。完全アクセス権のパスを変更する場合は、設定を記録して変更後にもう一度設定が必要です。(図 1)



アップしたところで本日分の「Vac\_日々更新レコード作成」をチェックし「今すぐ実行」を押し、本日用に各ファイルの更新をしておきます。(図)(未実行の場合はクライアント側で実行されます。)



以上でサーバー自体のセッティングは終了です。

# ワクチン Pro のファイルをサーバー内に準備する

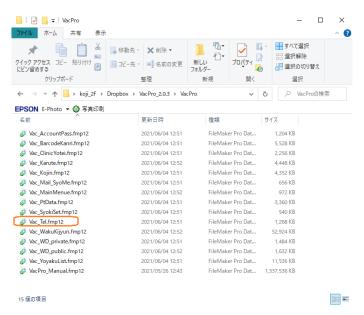
次にクライアント側のパソコン(WindowsでもMachintoshでも可能)にFileMaker Proをインストールします。インストールの手順はClaris社の手順を参照してください。

(ver 1.x.x)

ファイルメーカーを開きます。ワクチンProのVacProフォルダの図の14個のファイルを準備してください。

(ver 2.x.x以上)

ファイルメーカーを開きます。ワクチン Pro の VacPro フォルダの図の 15 個(Vac\_Tel 追加)のファイルを準備してください。(図)



最初に開く画面で操作します。

ファイルン共有設定>ホストにアップロード を選択します。(図)

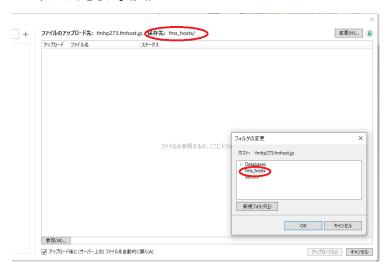


その画面が下の(図)です。Filemaker Server の認証を入力してください



## (注意)

FMHost ではデータベースの保存先は fms\_hosts になっておりますので間違わないようにしてください。(デフォルトでは Database になっていますので必ず変更してください。)ここにメールに添付しているワクチン Pro のファイルを参照するかドラッグ&ドロップアップロードを押してアップロードしてください。(図)



通常の場合は(図)のように/Databases で良いです。



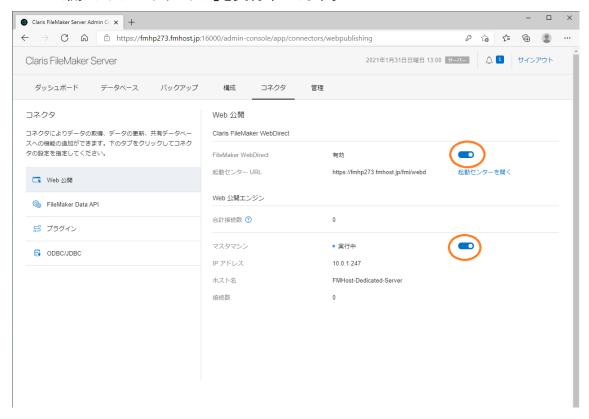
# WebDirect の設定

## コネクタタブ>Web 公開

## (図)のように

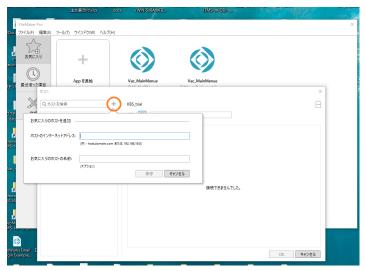
「FileMakerWebDirect」を有効にします。

Web 公開エンジン「マスタマシン」を実行中にします。



# ワクチン Pro のオープン

初期はホストの登録をしていませんので、ファイル>ホスト>ホストを表示(S).....でプラス(図)を押し、表示のアドレス、ホスト名(オプションで自由)を入力します。

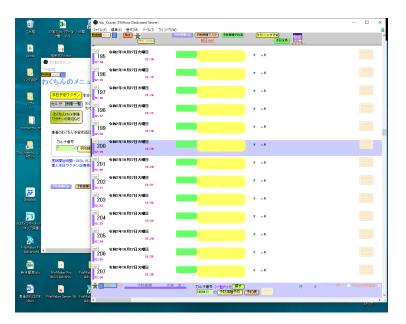


ホストから先ほどセットしたホストを選んでください。リストの中の Vac\_MainMenue を開きます。 (このファイルがメインのエントランスです。)(図)図は GOZAN になっています。



Vac\_MainMenueを開くと同時にVac\_Karute(日々のカルテ用に使用)も開かれるようになっています。

前述のサーバースクリプトの「Vac\_日々更新レコード作成」を実行していなかった場合はここで行われますので終わるまでお待ちください。(図 3)



後ろに隠れている「わくちんのメニュー」(ウインドウ名)をクリックして前面に出します。これがエントランスファイル Vac\_MainMenue です。(図)



# わくちんメニュー(Vac\_MainMenue)の設定

# 機関情報

「Full Access」の権限で開くと(アカウント「VacPro」で開きます。)右にタブが開きます。(部分アクセスでは現れません。例:「iji」)

一番左の機関情報のタブを押します。(図)



「Full Access」の権限で開くと(アカウント「VacPro」で開きます。)右にタブが開きます。(部分アクセスでは現れません。例:「jji」)

一番左の機関情報のタブを押します。(図)

【入力\_MailFrom】患者にメールを発信するときに内容で記載するクリニック側のメールアドレスを記載します。

Gmailを利用しています。

### 【入力\_WDのURL】

患者がWEBで閲覧する Vac\_WD\_publicファイル表示用のURLを記載します。(これが WebDirectのメイン画面になります)

#### 【入力 お知らせ自院名】

患者にメールを発信するときにメール内容中に記載するクリニックの機関名を記載します。

## 【入力 お知らせ電話】

患者にメールを発信するときにメール内容中に記載するクリニックの電話番号を記載します。

#### 【メイン地方公費 市町村名】

地方公費の申請をするときに*一番人数の多い市区町村*を記載します。市区町村を公費を提出するための表記で記載します。(市区町村まで必要)

【予約カルテ関連\_自動入力終了Time(診察終了後の時間で設定)サーバー上のスクリプト <loop\_YoYaki\_sync>の終了する時間です】

夜中にスクリプトが動くので、患者さんが絶対来ない時間で23時頃までの時間を指定ください。(厳密には深夜の00:00:00 より数分前まで入力してください。)

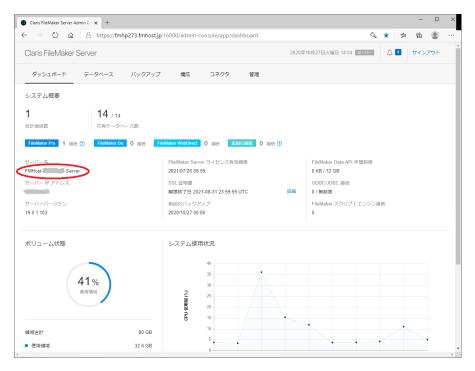
## 各種 server

「Full Access」の権限で開くと右にタブが開きます。

#### 各種 server のタブを押します。(図)



【入力\_FilemakerServer 名】Admin Console に記載されているサーバー名を記載します。
(図)



【ServerOS】Mac(Machintosh) Win(Windows)\_FMHost は Win Lin(Linux)から選択します。

## **ORCA**

ORCA を使用してない方も見てください。

「Full Access」の権限で開くと右にタブが開きます。 orca のタブを押します。(図)



【ORCAのIPアドレスorホスト名】 【ORCAのアカウント】 【ORCAのアカウント】 以上を入力します。

【患者 data\_ORCA\_使用】を「する」にすると ORCA 通信ボタンが現れます。(図)上記のフィールド値を利用して ORCA とcURL 通信により患者情報を取ることが出来ます。



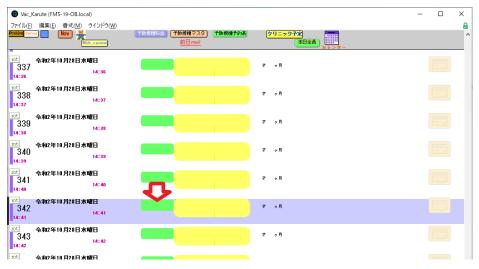
この設定はVac\_PtDataのスクリプト「OrcaApi\_Jason\_受信用\_【設定 ORCA】」で使用し、ORCAから自動的に患者データーを取り出します。

(スクリプトの作動場所)

(図)カルテ番号を入力し、「ORCA 通信」ボタンを押したとき



#### (図)カルテ番号を赤矢印に入力したとき



注目;ORCA でない医療機関はこの「OrcaApi\_Jason\_受信用\_【設定 ORCA】」スクリプトを各レセコンの Api の仕様書にて改変すると患者データは自動で取り出せます。

# 送 mail

「Full Access」の権限で開くと右にタブが開きます。

「送 mail」のタブを押します。(図)



【mail\_ユーザー情報\_送信SMTPサーバー】 GMailは「smtp.gamail.com」

【mail\_サーバー情報\_サーバーポート】 SSLを利用するので「465」

【mail\_サーバー情報\_ユーザー名】 Gmailユーザー名

【mail\_サーバー情報\_パスワード】 Gmail パスワード

# 受 360Works

「Full Access」の権限で開くと右にタブが開きます。 「受 360Works」のタブを押します。(図)



(プラグインの設定)

[Email\_Key]

360Works EmailのLicense Keyを入力

[Email\_Key]

Registered Toを入力(360Works社から与えられたもの)

(メール受信用)

[Inbaund Host]

GmailのIMAPホスト名 「imap.gmail.com」

[Inbaund Username]

Gmailのユーザー名

[Inbaund Password]

Gmail のパスワード

# メール送受信の準備

Gmail のアカウントの作成 ファイル処理用のアカウントの作成

## 下記のURLを出します(図)

https://accounts.google.com/signup?hl=ja



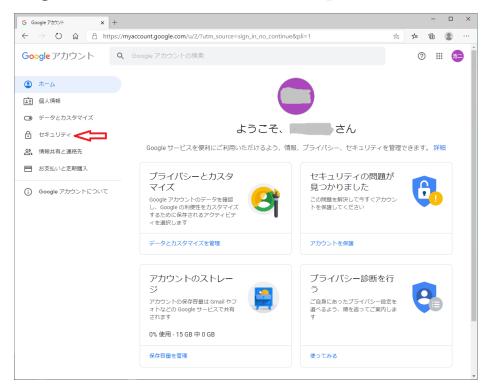
全て入力して「次へ」を押します。アカウント情報を入力します。(図)



次の、プライバシーポリシーと利用規約に進み「同意する」を押します。ログインした後に先ほ

## ど入力したメルアドに確認メールが来ます。確認しておいてください。

Google アカウントの画面です。矢印の「セキュリティ」をクリックします。(図)



## 下へスクロールし(図4)



「安全性の低いアプリへのアクセス」を有効します。次の画面で有効にします。(図)



これでワクチンProからメールの送受信が出来ます。

## (メール送信の仕組みと現在Gmailとしている理由)

WebDirect で、「メールを送信」を押した場合はクライアント側でなく、FMHost サーバーがメールを出すことになるためで、ODN などの通常メールを設定すると上手く送れれない現象がありました。(オンプレミスからは送れるのですがクラウド側では問題があるようです。)

# Vac\_WD\_public のスクリプト(メールを送信の部分)の手動修正

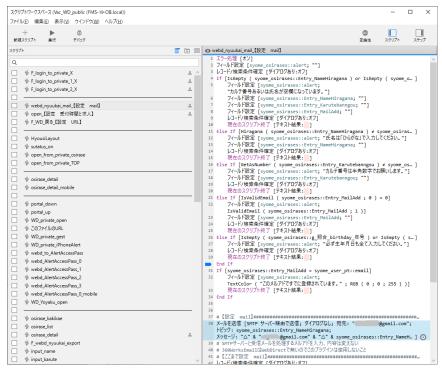
わくちんのメニューの File タブを押して、ファイル一覧を出します。Vac\_WD\_public.fm12 を出します。(図)



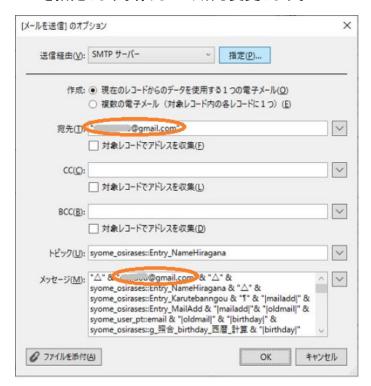
メニューの、スクリプト>スクリプトワークスペースを選択します。(図)



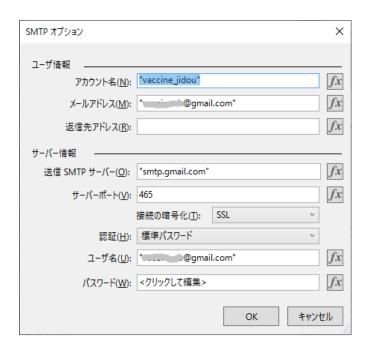
スクリプト「webd\_nyuukai\_mail\_【設定 mail】」を選択し、中程にある「メールを送信」をダブルクリックしてください。(図)



【宛先】;前述で作ったファイル処理用のアカウントを入れてください。(図)上方の SMTP サーバーを指定します。赤丸の2ヶ所も変更します。



SMTP オプションです。(図)



【アカウント名】;わかりやすい名前に

【メールアドレス】; 前述で作ったファイル処理用のアカウント(メールアド)を入れてください。

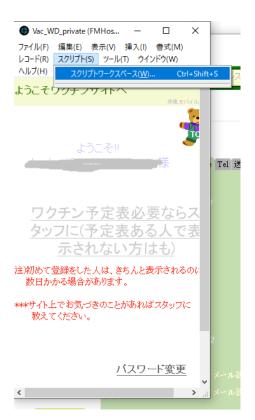
【ユーザー名】;前述で作ったファイル処理用のアカウント(メールアド)を入れてください。

# Vac\_WD\_private(メールを送信の部分)のスクリプトの手動修正

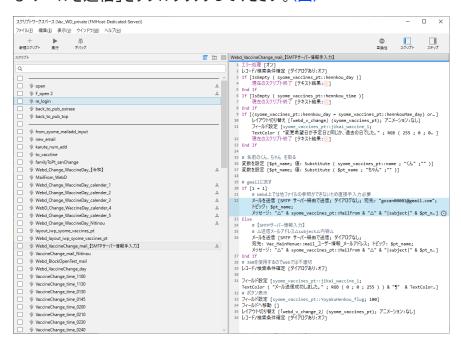
わくちんのメニューの File タブを押して、ファイル一覧を出します。Vac\_WD\_private を出します。



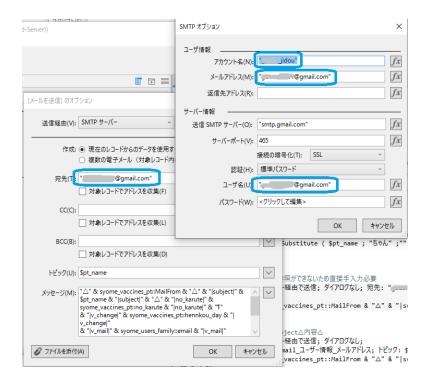
メニューの、スクリプト>スクリプトワークスペースを選択します。(図)



スクリプト「Webd\_VaccineChange\_mail\_【SMTPサーバー情報手入力】」を選択し、中程にある「メールを送信」をダブルクリックしてください。(図)



【宛先】;前述で作ったファイル処理用のアカウントを入れてください。(図)上方の SMTP サーバーを指定します。



# 医療機関の設定

# 総括

わくちんのメニュー画面です。(図)



概要です。

#### 予防接種料金

○○○ ワクチンの市区町村での値段の入力と自費の価格入力。これを元に各市区町村の公費請求の書類は作られます。

#### 予防接種マスタ

○○○ オリジナルを元にワクチンを打つ順番が決められます。

## クリニック予定

〇〇〇 定休日や祝日あるいは予防接種不可日を入力しておきます。 自動で予約作成時にこの日はオミットします。

#### 予約票作成基準

〇〇〇 日々作成されるカルテ接種一覧の空レコードを作成する基準を作成、これにより下記の曜日\_基準枠を作成します。

#### 曜日 基準枠

○○○ 曜日によって、上記のレコードが時間毎に予約枠なのか予約なしで来院の患者を 入れる窓口枠なのか、あるいは患者を入れない空欄にするのかを設定します。

#### 日々 予約枠

○○○ 予約者の収納用のレコードです。手入力も出来ますし、Web予約もここに入力されます。

#### Web\_syome

○○○ 医療機関からの情報を FileMaker の簡単な画面で作成、Vac\_WD\_public に反映させ、Web 表示します。

# 予防接種料金 毎年の更新など

予防接種料金の画面です。(図)



上段\_\_\_\_\_市町村名に正式表記で市町村名を入力(新しいレコードを作るときは、複製を利用しそこに市町村名を入力した方簡単)し、ワクチンそれぞれの委託料、自己負担、請求額、接種不可請求額を入力する。(図)



下段\_\_\_\_\_\_それぞれの医療機関で決めた自費の単価を入力します。使わないものは空欄可能です。(図)必要の無いものは消去してください。入力するとスクリプトトリガーにより全て 既存のレコード全てに同値が入力されます(新規した場合は別で入力してください)。



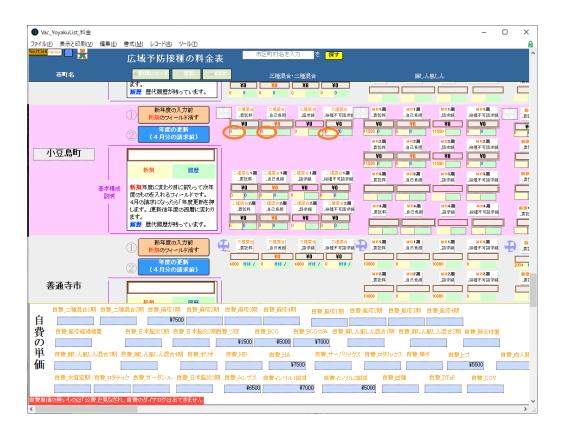
上段\_\_\_\_\_上方の新規レコード、複製、削除ボタンを利用し、医師会や市区町村からの

配布の資料を基に、請求する種類のワクチンは全て金額を入れてください。請求する必要のある各市町村を作成してください。(図)



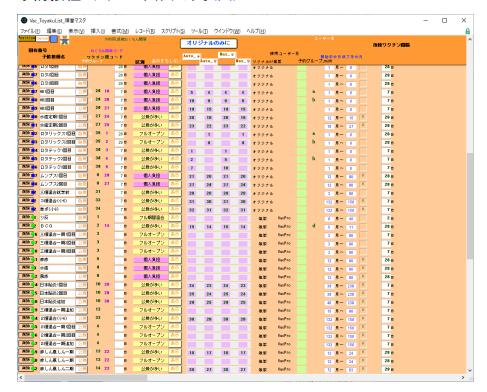
新年度になったら①のボタンを押します。全ての市町村で同様に押します。各ワクチンの、ワクチン\_委託料、ワクチン\_自己負担、ワクチン\_接種不可請求額(ワクチン\_請求額は計算フィールドです)の3ヶ所を全てのワクチンで入力しておきます。図は三種混合のみマークしています。

4月の公費を作成する直前に全ての市町村で②のボタンを押すと、新規の金額が代入されます。



# 予防接種マスター

予防接種マスターの画面です。(図)



上半分の青い■はオリジナルの部分、緑の●はオリジナルが複製された部分を表しています。

(図)の青枠のボタンの説明 それぞれを押したときの順番を示します。



Auto\_テ ロタテックで同時接種の個数を1個、2個、あるいは3個までを選択したときのワクチンの順番を手動設定できます。

Auto\_リ ロタリックスで同時接種の個数を1個、2個、あるいは3個までを選択したときのワクチンの順番を手動設定できます。

Max\_テ ロタテックで同時接種の個数を4個を選択したときのワクチンの順番を手動設定できます。

Max\_リ ロタリックスで同時接種の個数を 4 個を選択したときのワクチンの順番を手動設定できます。

(図)の「オリジナルのみに」ボタン



全体の設定を変更するときに使用します。押すと個人用に作成された順番や各ワクチンの 説明は消去されオリジナルのみになります。※デフォルトを変更したいときはまずはオリジナル のみにします。クライアントがその後に使用すると新しいオリジナルが使用されます。

各ワクチンの名称をクリックすると(図)のようにワクチンの説明分が出ます。

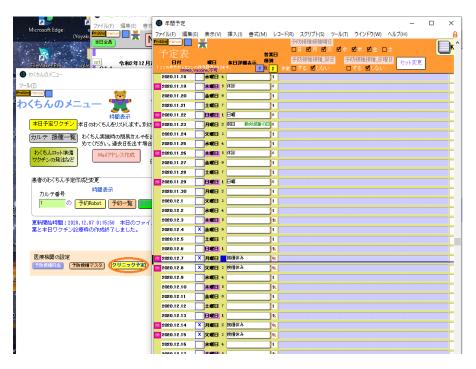


予約 Robot で個人作成したポータル(図)でワクチン名を押したときに表示されます。必要時にオリジナルを複製してアカウントで個別に作成されますのでその使用者のみのオリジナルな説明を作っていけます。(オリジナルのみにボタンを押したときは消去されます。)

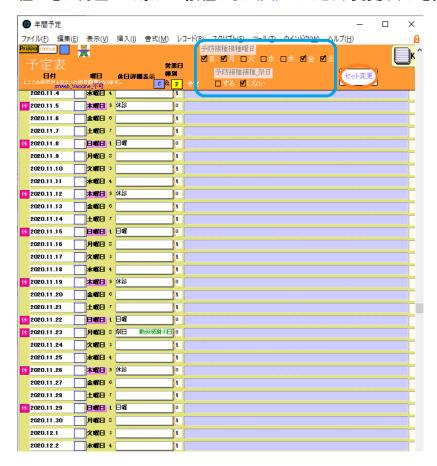


## 医療機関の接種日の設定 1

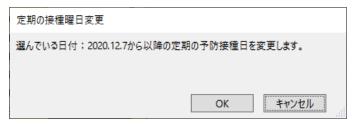
わくちんのメニューのクリニック予定ボタンから年間予定を出します。(図)



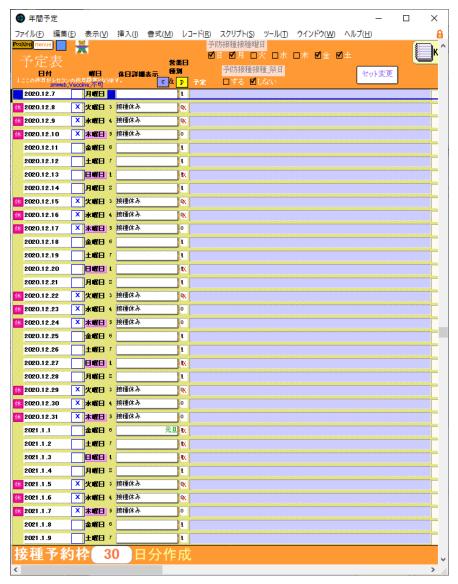
情報の青枠で示した領域で各医療機関の曜日毎の接種日の規則をつけます。たとえば接種日を日月金土で祭日は接種しない(図)にしてセット変更ボタンを押してください。



### ダイアログがでます(図)ので良ければ「OK」を押す。

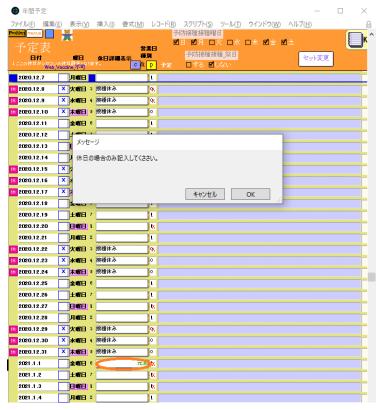


### セットしたようになりました。(図 4)



オーダー通りになっています。細かいは手動でします。

たとえば元旦を正月休暇にします。



1月1日が正月休暇になります。(図)、赤丸の「X」は自動ではいります。



Web\_Vaccine\_不可フィールドでここに「X」が入ると、webからこの日は予約ができません。

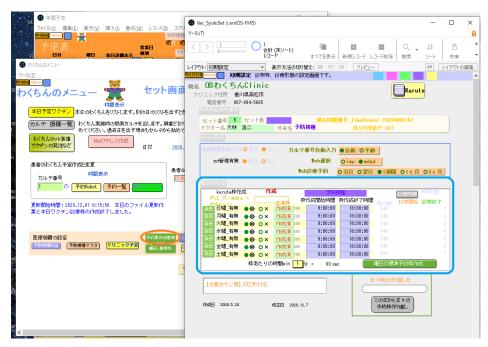
医療機関自体は休診でなくても、また接種日でも、Web から予約させたくない場合、ここに「X」が入ると、Web からは予約できないようになります。

# 予約枠の設定

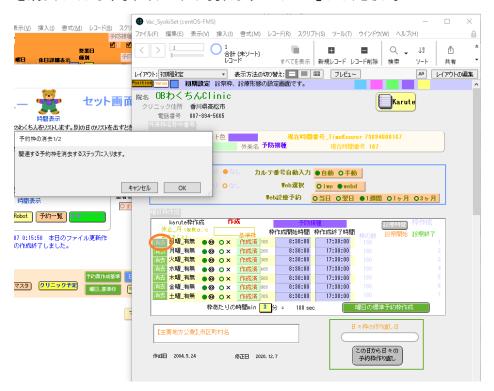
# 予約票作成基準

わくちんのメニューの予約表作成基準を押すと、予約枠を作る前のセッティング条件が現れます。(図)初期の状態です。

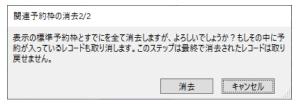
青色の枠内で曜日枠をセットします。日曜日も含めて全て作成してください。



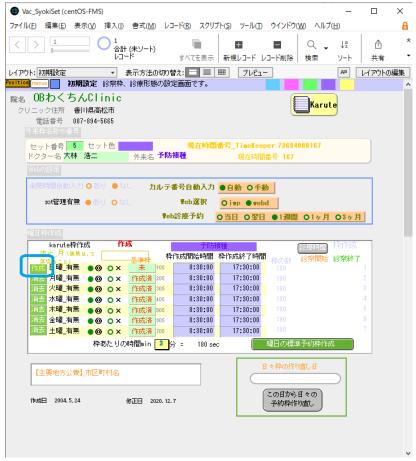
まずは「枠あたりの時間 min」を決めてください。デフォルトは1分ですが3分にしてみます。予防接種の枠作成開始時間と終了時間は診療時間で決めてください。例は開始を 8:30:00、終了を 17:30:00 にしました。(曜日により時間を変えてもいいです。)(図) 日曜日の基準枠を消去しています。ダイアログが現れますので「OK」してください。



もう一度ダイアログが現れます。(図)



消去され、表示は消去の代わりに「作成」になっています。(図) 同様に残りの月~土も同様にします。



左赤枠の「作成」ボタンは曜日毎に個々で作成出来ます。右青枠の曜日の標準予約枠 作成はまとめて出来ます。(図)

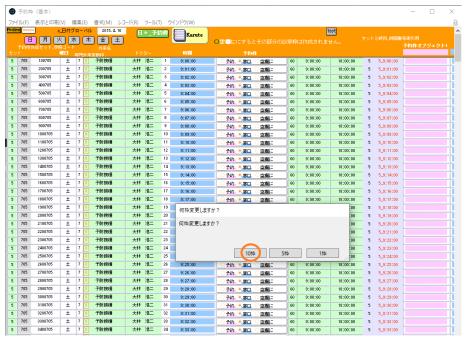


このときに、背後に曜日の標準予約枠が出来ています。全て「窓口」(予約できない枠)になっていますので。Webなどから予約できるように、すべての営業曜日に手動で予約枠を作ってください。中ほどの予約、窓口、空欄にの部分を押すと入力出来ます。

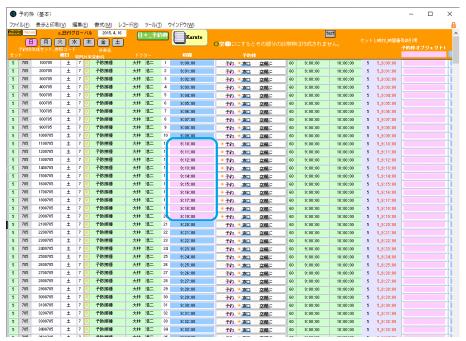
はじめに枠の種類を決めます。ここでは予約枠としています。(図)



### 連続で何枠変えるのか聞かれます。ここでは10枠としています。(図)



オーダー通りになりました(図)。スクリプトにより作られていた日々の予約枠も変更されていま す。



以上で曜日の基準枠、日々の予約枠が出来ています。

# バーコードスキャナー購入(例バーコードスキャナー Xenon1902g)

ワクチンが入っている医療用医薬品のパッケージは「GS1 データバー限定型合成シンボル CC-A」が使用されています。(https://www.jaisa.or.jp/pdfs/161130/01.pdf //二次元のものを使用) 通常で扱わないバーコードですので、コードレスだと価格帯は10万円前後になります。実際は冷蔵庫まわりや、受付で使用しますので、持ち運びが出来るようなコードレスのものがいいでしょう。ワクチン Pro はあらかじめの設定機として下記を使用しています。

#### 設定機(ワクチンProでの)

ワイヤレスバーコードリーダー(図) Honeywell製 Xenon1902g https://imagers.co.jp/products/xenon1902g.html



当日使用分の各種ワクチンのバーコードをあらかじめ登録するためには、同じ種類のロットをその都度スキャンして読み取りする方法は時間がかかって非効率です。「バッチモード」を有効にしてください。連続でバーコードと個数の入力が出来ます。

例、ロタリックス5個、アクトヒブ8個、プレベナー4個をバッチモードで連続でデーターバーを読み取ったテキストです。(ワクチンロット準備で使用)

01149870811100081720103110RT007

,00005

01149870814742781721052210R1C97

80000.

01149871141647011721093010AK8730

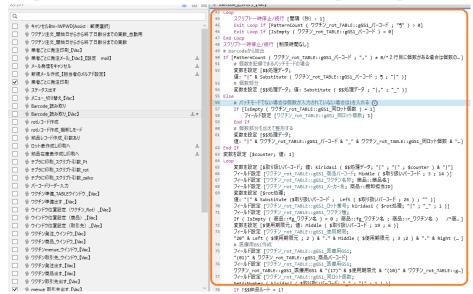
.00004

## バーコードスキャナー その他のスキャナーの場合

#### その他の機器の場合

他のスキャナーを利用の場合は連続でバーコードと個数が読み取れるもの(遠隔モードなど) とコードしか読み取れないものがありますが、コードしか読めないものもプログラムしています。 が、実際使用してみて上手くいかない場合は次のスクリプトを変更してください。

### Vac\_BarcodeKanri.fm12のスクリプト(図) Barcode\_読み取り【Vac】



### Vac\_Karute.fp12 のスクリプト(図 2) Barcode\_読み取り



#### の2カ所を修正。

# バーコードの意味 gs1 データバー

gs1 データバー 合成シンボル cc-a について 例(図)



(17)210930(10)AK8730(01)14987114164701

大ざっぱにに「(17)期限(10)ロット(01)商品コード」になっています。 21年09月までで、ロットはAK8730、製品コードは14987114164701と言うことです。

これをスキャナーで読み取ると 01149871141647011721093010AK8730 になります。

01商品コード 14987114164701 17期限 210930 10ロット AK8730

の順になっておりそれを元にスクリプトでその部分を切り取って読んでいます。 (上記のスクリプトステップ)

Vac\_BarcodeKanri.fm12のスクリプト Barcode\_読み取り【Vac】 Vac\_Karute.fp12 のスクリプト Barcode\_読み取り

# 公費請求書のための市区町村に合った計算式の作成

Vac\_YoyakuList.fmp12の「公費の検索請求書作成」を押すとアラートが出ますので、「計算式」を押します。(図)



市区町村に合った一部自己負担計算、公費請求項目、あるいは請求単価計算が、算定計算式テキスト\_保存用を計算式として使用されています。「使用中」のものは実際に使用される計算式です。(図)



セット1で公費請求項目計算と請求単価と一部自己負担計算の 3 個のグループで使用します。セット2も同様グループになっています。地域の請求項目に合わせて、公費請求項目 計算で公費請求項目を設定し、請求単価計算でその項目に合わせ請求額、一部自己 負担でそれぞれのワクチンの自己負担が表示される仕組みになっています。(その市町村に 合った請求書を作成するようになっています。)

各市区町村名での作成が必要です。(編集も出来るようになっています。後述)ここでは複

製を使用することとします。レコード複製で赤枠「さぬき市(デフォルト)対象レコードの複製」で複製(図)し、複製は AAA 市になっています(セット 1 も 2 の控えも複製されています。)のでそれを目的の市町村名に変更します。



請求書を作成する各医療機関の市区町村全て作成してください。(図)



※さぬき市のものはデフォルトですので消去しないでください。

# 発注の会社の入力

### ワクチンのメニュー>取引先を押します。(図)



取引先一覧が出ます(図)ので 編集してください。ワクチンの発注宛ての人物の名前、会社電話番号、メールアドレスを入力します。発注メールの宛先になります。



定しています。

## ver2. x. x 以降 電話機能

通信機器準備(ひかり電話編) ガンジスのCTIを利用

FileMaker19.12 、Windows10 での設定しています。

NTTひかり電話はCTI機能を持っているため、PR-500MI(ひかり電話対応ホームゲートウェイ・ひかり電話対応機器・ひかり電話ルーターと呼ばれます)を利用しています。PCは EtherNetとWiFiの両方に対応したものを選択しています。

ナンバーディスプレイをお願いしておきます。(大切)

<ネット接続>

1か所目:PCのEthetNet側とPR-500MIのLAN(どれでも)を繋ぎます。

2か所目: WiFi には FileMaker のサーバーと接続する設定にします。

ガンジスのURL https://ganges.pro/ (図) にてインストーラーをダウンロードしてインストールします。(ガンジス HP 参照)



#### 電話との接続

https://ganges.pro/customer/help/hikari-tel-setting/ を参照 自動設定できます。 (図)



### URIで開く(図)

URIで開くタイミング 「着信があった時」

URI 「fmp://ファイルメーカーサーバーのアドレス

/Vac\_Tel.fmp12?script=Local\_FromGanges&param={Tel}\_J



以上、非常に簡単です。

<備考 製品ガンジス>https://ganges.pro/

無料版

PC2台まで可。記録数500まで。CTI着信回数が月100回まで。 使用期限は、ヘルプ>ライセンスで確認して下さい。 Pro版

4,620円(税込)/年 月あたり385円(税込) PC2台まで可。記録数20万まで。

CTI 着信回数は無制限。

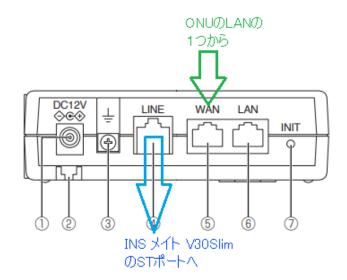
通信機器準備(ISDN編) INSメイト V30S1im 使う場合

FileMaker19.12 、Windows10 での設定しています。

ナンバーディスプレイをお願いしておきます。光電話はそのままでは ISDN 回線で利用出来ないため、ISDN 信号に変換する NTT の「Netcommumity VG230i」、また ISDN のターミナルアダプタ「INSメイトV30Slim」(オプションで「INSメイトV30S/Tユニット」を装着する)を使用しています。接続は電話業者に依頼しました。

※Netcommumity VG230iを利用するには、ISDN のターミナルアダプタに「S/Tユニット」の 増設が必要です。

接続(Netcommumity VG230iの背面)(図)



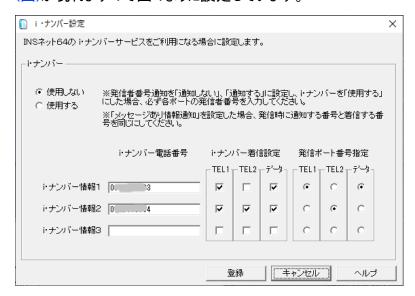
光回線の ONU(終末装置)の LAN の1つからこの装置の WAN に接続。LINE から INS メイト V30Slim の S/T ユニットに繋ぎます。また INS メイト V30Slim の USB ポートは電話を着信する PC(INS メイト V30Slim のセットアップををインストール)に繋ぎます。

### 【INS メイト V30Slim の設定の例】

INS メイト V30Slim の INS メイ V30Slim イージーウイザードを開き、(図)のように設定ユーティリティー>i・ナンバー設定を押します。



(図)が現れますので図のように設定しています。



https://www.monkeybreadsoftware.com/filemaker/ (図) にてプラグインをダウンロードして購入します。(2021.06.05 現在)



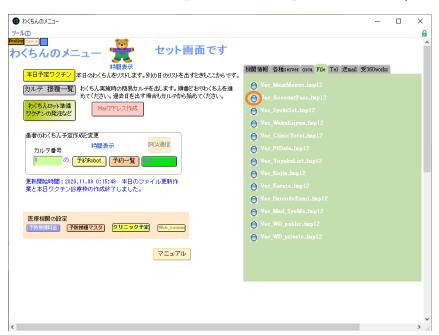
「Buy Now」で購入しておいてください。登録は 操作 ver2.x.x 以降 電話着信機能を参照してください。

## 操作 AccountPass

アカウント追加と削除(1) 完全アクセス権必要 スタッフ登録や機能を追加するとき

完全アクセス権でワクチンProを開始します。

わくちんメニューのタブで「File」をクリックし、Vac\_AccountPass.fmp12を選択します。(図)



フローティングする画面になりますので、上半分のクマかスポーツカーの画像部分を押します。 (例: クマ)(図)



次の画像になる前に管理のアカウント(管理ならどれでも可)を入力します。次の管理\_設定

画面(Vac\_AccountPass.fmp12)が開きます。出た画面の上段の注意を確認してください。 (図 3)

このページのレイアウトのタブ順は原則変更禁。誤って操作した場合は管理アカウントから看護婦アカウントまで150個のタブ順(開始点は管理パスの繰り返しフィールドの最初のフィールドをタブ順の1番目とし、あとは順不問)を設定し、あとはタブ順を除外(設定しない)してください。

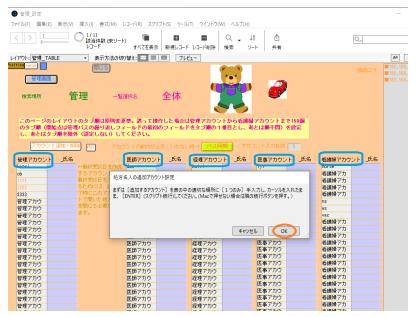


注意書きの左下の「アカウント追加・削除」ボタンを押します。アカウント追加・削除のダイアログが出ます。追加の作業をしてみます。(図)



新しいダイアログが現れます。(図)管理アカウント、医師アカウント、経理アカウント、医事アカ

ウント、看護師アカウントの繰り返しフィールドの上記注意に従った場所にカーソルを入れアカウントを入力します。「ENTER」キー(マックは続行ボタン)を押します。

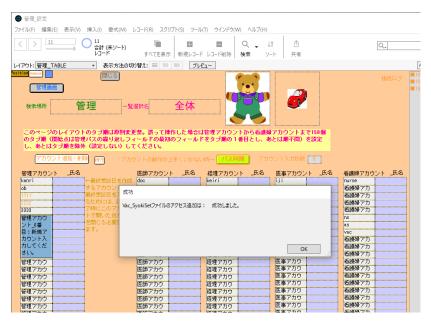


## スタッフ登録や機能を追加するとき

「ENTER」キーを押した後の状態です。(図)追加アカウント名(簡単なものが良い)、パスワード、アクセス権セット(管理、医師、経理、医事、看護師のいずれか。)を入力し「OK」します。



次々と各ファイルのアクセス追加が行われます。(図)終了のダイアログが現れるまで続けてください。



アカウント削除も同様手順で行われます。

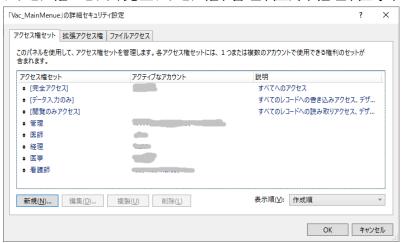
パスワードの変更について アカウント追加と削除をした後個人でしま

## す

ワクチンProは複数のファイル構成で、それぞれのファイルに合ったセットでのアクセス権が与えられています。(図)

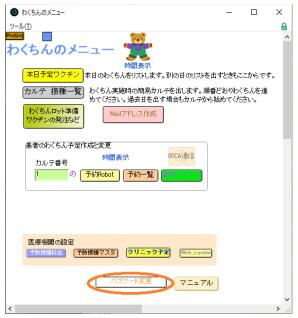
#### 初期值

アクセス権のセット;完全アクセス権、管理、医師、経理、医事、看護師

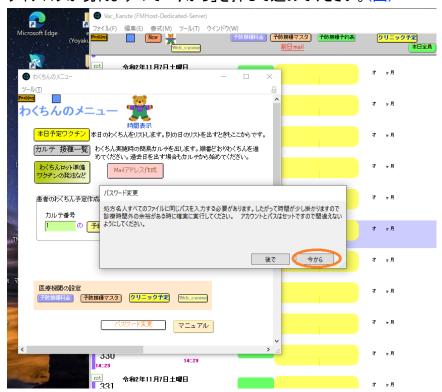


<パスワードの変更の仕方>

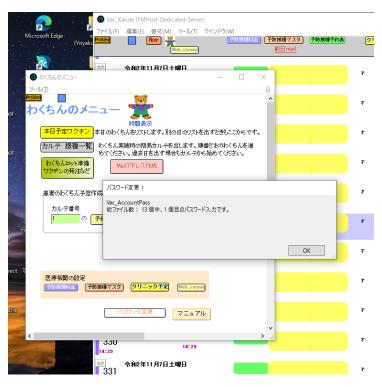
わくちんのメニューの「パスワードの変更」を押します。(図)(完全アクセス権で開いた場合は ボタンは表示できません。)



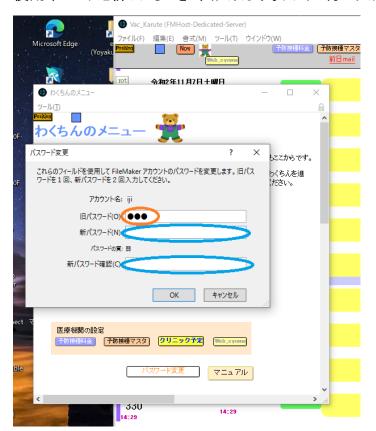
ダイアログが現れますので「今から」を押して進めてください。(図)



ダイアログが出ますので「OK」(図)



## 使用中のパスと新しいものを2回入れます。ファイル分の入力が必要です。(図)



## 予約Robot

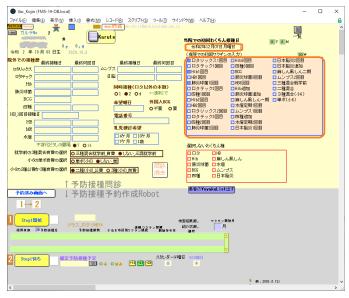
# 予約Robotを利用して複数のワクチンの予定を一括して組む(乳児)

「わくちんのメニュー」の左の赤丸のカルテ番号に予定表を作りたい患者の番号を入れ、右の「予約Robotステップ1」を押します。(図)



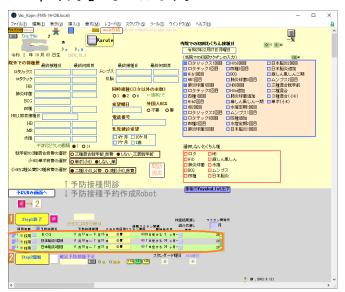
### -----画面上の【予防接種問診】------

上段の予防接種問診を埋めます。ワクチンが初めての人は赤線で囲った部分のみ入力します。接種既往のある人は、左の履歴も必要あれば入力します。(入力のものはそれを元に回数判断や間隔を決定します。)分からないときは作業終了後に手動で不必要な部分を消去してください。(図)



ステップは1→2と進めます。

まず「Step1開始」を押します。問診での条件に合わせて順番がポータルに入りました。(図)「Step1終了」になっています。



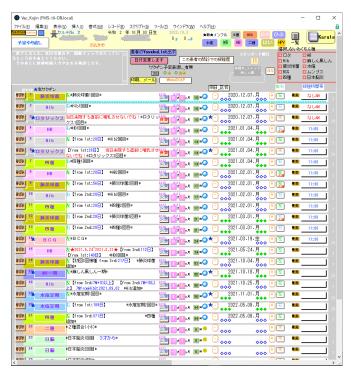
次に「Step2」を押します。Step1での順番でそれぞれのワクチンの基本間隔に合わせ、しかも 医療機関の予定似合わせて予防接種スケジュールが組まれていきます。操作中もっとも時 間のかかるプロセスです。ポータルから選択が外れますので、このときに絶対コンピュータ操作 を避けてください。

もし上手くいかなかったら「Esc」キーを押し、操作を中止して「Step1」からやり直しが必要です。

都合のいい曜日を聞く、薬の調合に時間のかかるBCGの曜日などを聞いてきますので、合わせてボタンを押してください。

約1年間の予約ファイルが出来ました。(図)

時間が入っている部分は、デフォルトでは「手動で」になっています。時間の設定をしたい場合はVac\_Kojinのスクリプト「【わくちん】接種時間\_step2\_時間選択機能\_【医療機関 優先時間帯設定】」の内容を変更してください。



終われば休日や間隔チェックのあるところは日付を修正します。上段のボタンも利用出来ますが、なれるまでは、**修正はもう一度「わくちんのメニューに戻り」今度は予約一覧ボタンを押し修正してください**。

予約Robotでの予約は iPad使用をお勧めしています。

ワクチンの規約に従って、医療機関の診察日に入れていくため時間がかかります。

Filemaker pro 光回線で2-3分(ローカル2分弱)ほど、FileMaker GoのWiFiで6-9分、iPhone4Gで16分くらいです。

作業中はマウスやキーボードを触らないように気をつけてください。

途中でスリープモードにならないように iPad 設定>画面の表示と明るさ>自動ロック15分など自動ロックの時間をそれぞれで長くしてください。

PCの通常業務を妨げないように、予約作成専用でFileMaker Goを用いてiPad使用をお勧めしています。

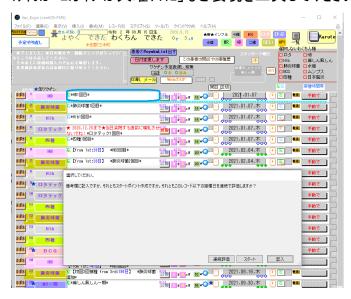
## 予約Robot 予約ポータルの説明

(図)の青枠の部分をクリックするとダイアログが出ます

連続評価---クリックしたワクチンから下のワクチンの接種日や間隔が評価されます。**手動で** 直し終わった後ポータルの最初のワクチンをクリックして全レコードを確定させる作業を加える ことをお勧めします。

スタート---クリックしたワクチンに図のような水色の破線が表示されます。

記入---備考に記入ができます。**注意 基本的に表記されているワクチン名や回数記載は修正あるいは消去はいけません。また記載されている種類の表記を使った表現は避けてください。**(回数やワクチンの種類を計算していることがあります。「2回目は火曜日に」と記載したければ「2カイメは火曜日に」など表現を工夫してください。)



(図)の部分を押すとガイドラインを出します。編集可能です。



#### 【日付の変更】

例えばのロタテック3回目は2回目と2週間しか開いていませんので、★ 2021.4.26まで★となっていますので3月4日にします。

まずは(図)の青枠の部分をクリックします。ダイアログが出ますので「接種日」を押します。接種日が選択されますので2021.03.04と入力してください。

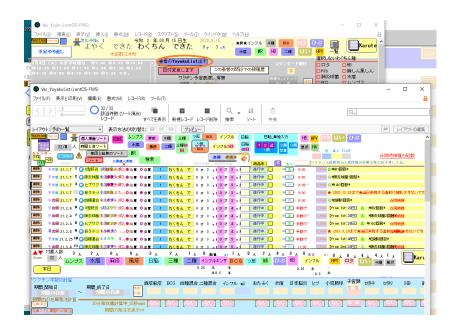


#### 【時間の選択】

続いて時間帯を入力します。(図)のように時間帯の部分を押して選択してください。



ポータルで作業するのが苦手な場合は、(図)の「患者のYoyakuList出す」を押して患者のワクチン一覧を出してそこで直観的に作業するスタッフもいます。

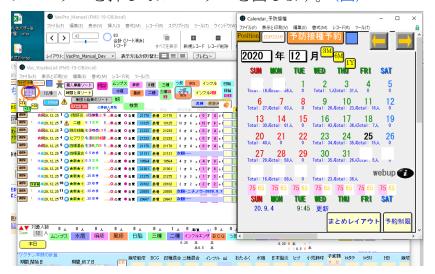


## 予約個別(通常の予約)

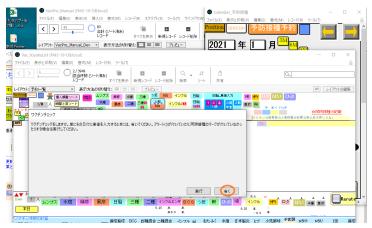
わくちんメニューの「本日予定ワクチン」ボタンを押して、Vac\_YoyakuListを 出します。(図)



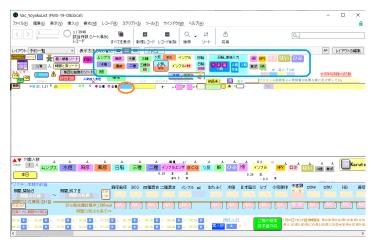
カレンダーを押してカレンダーを出します。(図)



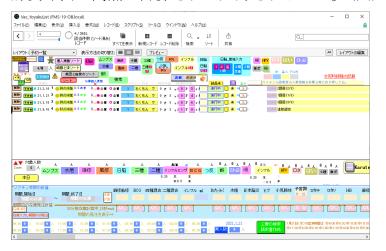
予約したい日付を出しその日付(今回2021.1.21)を押します。押した後、その日付のレコードのワクチンチェックをするかどうか聞かれます。時間が有る場合は「実行」を押してその日付の全てのレコードをチェックさせます(数秒)(その日のすべての患者のレコードのワクチン間隔や年齢がチェックされます。)すぐに出したい場合は「省く」を押してください。(図)



赤枠にカルテ番号(今回 1)を入力し、青枠の中からワクチン(今回の例は 肺炎球菌)を選んでださい。(図)



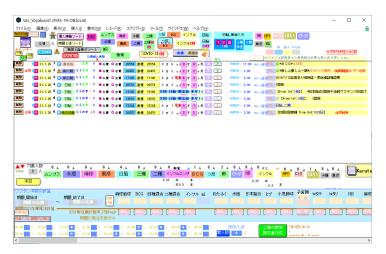
肺炎球菌が間隔の計算されて入力されました。(図)



他のワクチンも同様に入力出来ます。

# 予約一覧の部品の意味 1

(図) はある日のワクチン接種状況です。



#### (左から説明)

- ◎一番左に削除ボタンがあります。レコード削除をするときはこのボタンを使用してください。
- ◎次の2と8レコード目に「☆同」とあるのはこの日に20470の患者は同時接種があります。
- ◎(図)赤く「休」の字が書いているのはこの日が休診というマークです。 (この日は休診日であることを示しています。



- ◎接種目の目付。
- ◎レコード番号。
- ◎○マーク、2 レコード目の△のアラートマーク。○はワクチンの年齢や間隔 に合格したマーク。

△はチェックが必要です。押すと何が引っ掛かったのかダイアログで表示が 出ます。(そのまま○になるのは日付変更後にチェックがされてなかったもの です。)(図)のように押すとアラートが出ましたので確認します。(場合によ ってはそのままでいいこともありますので、スタッフで共有します。)



## 予約一覧の部品の意味 2

(図)の部分の説明です。



(左から)

- ◎ワクチンの標準接種量 ml
- ◎左右表示。
- ◎回数や追加の表示。
- ◎表示「0」の辺りは料金設定(別説明)をしておくと自己負担金額で地域別にでます。
- ◎赤い「X」(上半分図では切れています。)は注射当時の地域と患者が転居して地区外に移ったことを示しています。(患者データと予防接種データの地域に齟齬があった場合に出ます。)

## 予約一覧の部品の意味 3

- ◎患者のカルテ番号
- ◎患者氏名
- ◎現在年齢 オ ヶ月

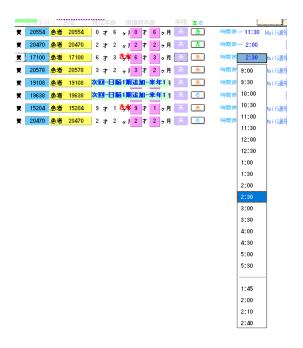
- ◎接種時の年齢
- ◎接種の有無 押すとのようにアラートが出ます。(図)



◎左右表示 (図)のように「2nd」と表示されるものは同側が複数個所となったときに表示されていますので「大腿外側」などと決めておいてください。

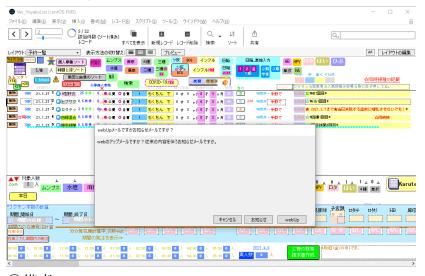


◎時間帯→は押すと(図)のように出ますので時間帯を選択。



- ◎「Mail通知」は前日のお知らせメールが送られたときに表示されます。
- $\bigcirc$ TELの部分はEmailがある人は「Email」となっています。押すと(図)のようにダイアログが出ます。

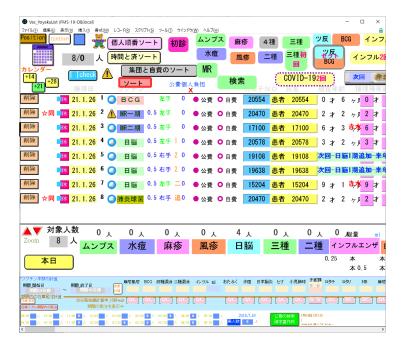
「WebUp」...... 患者の予防接種表に記載された胸のメールが送られます。 「お知らせ」... 営業日前日のお知らせや当日に患者が来なかった場合にメ ールします。



◎備考。

(左下)

◎「Zoom」画面の拡大縮小ができます。ダイアログで選んでください。(図)



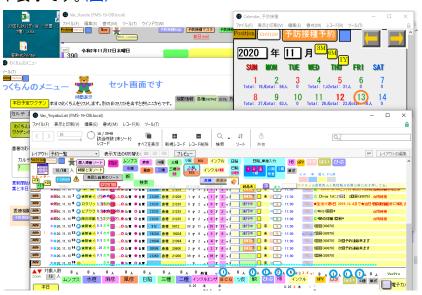
## 予防接種準備

## 前日 明日(翌接種日)のワクチンロットの準備(1)バッチモード(連

## 続でロットと個数が読めるモード)でスキャン

接種当日の作業が繁雑にならないようにあらかじめワクチンのロットを準備しておきます。

Vac\_YoyakuList.fmp12のカレンダーの翌接種日の日にち(例は11月13日)を押した後のリスト表示です。(図)



ワクチンは保存の冷蔵庫で1週間分のそれぞれ「月」「火」「水」…と書いたカゴの中に準備するのも前日に「翌接種日」のカゴを用意するのもいいでしょう。ワクチンのまとめ方はワクチンの数によって医療機関で様々になりますが、ここでは「カゴ」にしておきます。(図)画像暗いですが、曜日の書かれたカゴが見えると思います。



その中に準備したその日のワクチンのGS1データコードを全て読み取ります。前述のスキャナのバッチモードで一気に読み取ります。(図) 写真は例として空のの箱ですが、実際は開封していない箱をスキャンしていきます。



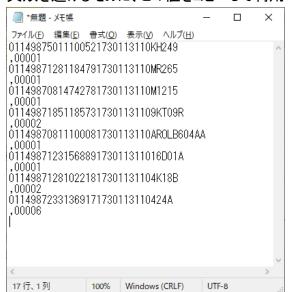
<カゴの全てのワクチンスキャンが終わったら>

わくちんのメニューのボタンから わくちんロット準備ワクチン発注など > わくちんロット準備 > 開始 と進んでいきます。(図)

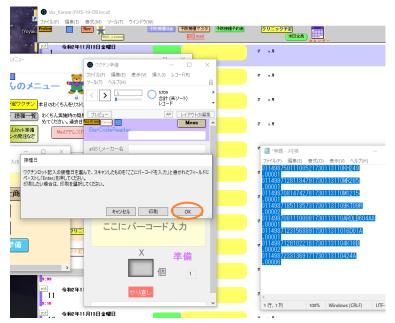


(コッ)数が少ない場合は直接入力してもいいのですが、スキャン台にずれて乗せたり、カーソルが外れてしまったりがあるので、メモ帳などにカーソルを入れ、ここにスキャンの入力値を入れておきます。(図)

失敗を避けるために、この値をコピーして利用します。



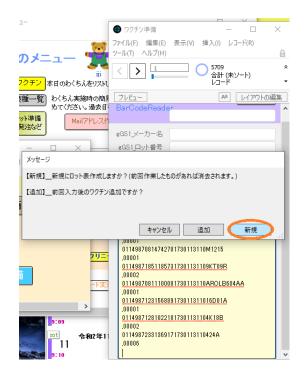
開始ボタンを押した後はダイアログが現れます。「OK」を押します。(図)



スキャンした日付をカレンダーで選び、先ほどのデータをペーストし、ENTERを押します。(図)



(この際同日のスキャンデータがあるとダイアログが出ますので選択してください。)(図)その後印刷を指示してください。控えの翌接種日のロットの印刷が出ました。

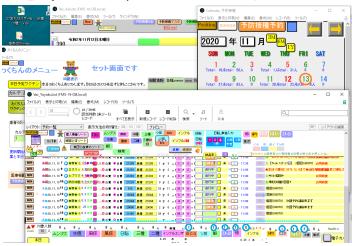


接種日当日に追加が出たりロットを変更する場合は、「当日個々でロットを入力する」を参照してください。

# 前日 明日(翌接種日)のワクチンロットの準備(1)ロットのみスキャンする場合

接種当日の作業が繁雑にならないようにあらかじめワクチンのロットを準備しておきます。

Vac\_YoyakuList.fmp12のカレンダーの翌接種日の日にちを押した後のリスト表示です。(図)



ワクチンは保存の冷蔵庫で1週間分のそれぞれ「月」「火」「水」…と書いたカゴの中に準備するのも前日に「翌接種日」のカゴを用意するのもいいでしょう。ワクチンのまとめ方はワクチンの数によって医療機関で様々になりますが、ここでは「カゴ」にしておきます。(図)画像暗いですが、曜日の書かれたカゴが見えると思います。



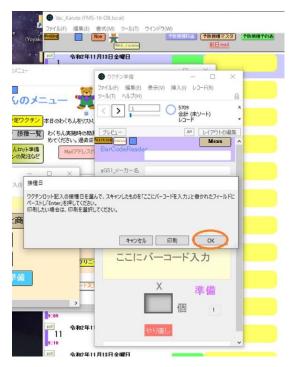
ロットのみスキャンはロットが同じのものは個数を入力しながら進めていくパターンです。(図)



わくちんのメニューのボタンから わくちんロット準備ワクチン発注など > わくちんロット準備 > 開始 と進んでいきます。(図)



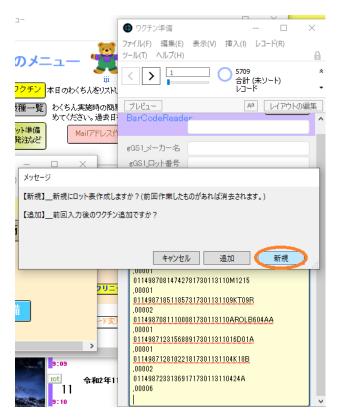
開始ボタンを押した後はダイアログが現れます。「OK」を押します。(図)



スキャンした日付をカレンダーで選び(赤)、「ここにバーコードを入力」にカーソルを合わせスキャンします(バーコードが入ります)(青)、個数が2個以上の場合は個数を入力します。(1個は省略可です。)(緑)ENTERを押します。(図)



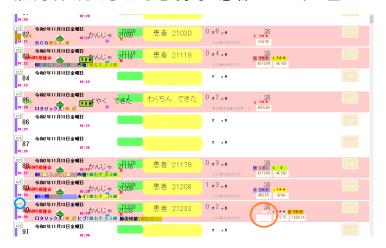
(この際同日のスキャンデータがあるとダイアログが出ますので選択してください。)(図)その後印刷を指示してください。控えの翌接種日のロットの印刷が出ました。



接種日当日に追加が出たりロットを変更する場合は、「当日個々でロットを入力する」を 参照してください。

## 当日 個々でロットを入力する

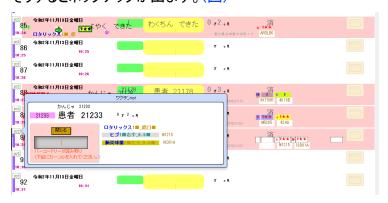
当日診察の終了した患者で接種待ち(緑の矢印)になっています。画面の中ほどの、わくちんできたちゃんが当日飛び入りでロタリックスを飲むことになり、その後に来た、患者 21233のロタリックスのロットが前日準備したロットが、よやくできたちゃんにロットが使われて、入力値が無くなり入力できていません。その患者のレコードの左上のrotボタンをクリックします。(図)



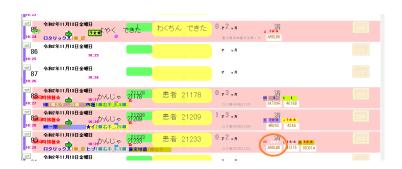
ダイアログが出たらBarcodeを押してください。(図)



そうするとポップアップが出ます。(図)



この患者に使用するロタリックスのロットを1個のみスキャンし、バーコード読み取りにカーソルが 点滅した状態でスキャナ台に乗せてください。自動で読み取られロットが入力されました。 (図)



## 当日 注射を準備をして接種していく ナースの画面

診察済みの患者で医療機関で決めた人数に達したり、待つ時間が長くなるような場合は、 グループの最後の人に矢印ボタンを付けます。図では赤丸の矢印を押すと、そのレコードの9 O番の下に区切りを表す緑のバーが出現します。(図)

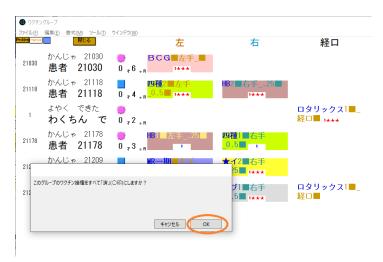


この緑のバーを押すと、注射の準備画面が出ます。(図)グループの全てのワクチンを準備して ドクターを呼び接種してください。

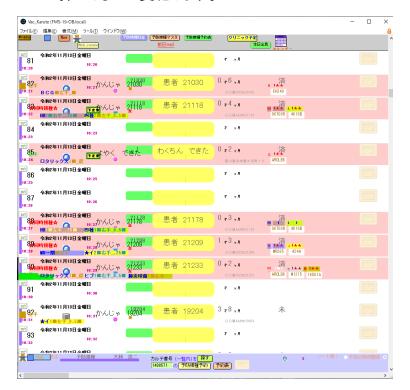


接種が終われば上段にある閉じるボタンを押します。全ての患者に済みボタンを付けるため

#### OKします。(図)



グループの矢印が全て〇に変わります。(〇はワクチン接種終了です。)(図)個々の矢印を一つ一つ押しても〇に変化します。



## NEW 新型コロナワクチンの手順 クーポンスキャン

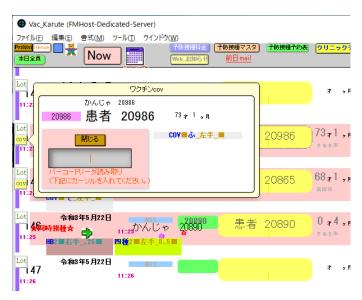
(図)3つのレコードは診察が終了した患者です。上の2レコードは新型コロナワクチン(上はファイザー、下はモデルナ)の患者のため、赤丸の「VRS」ボタンが出てきています。

#### ※ワクチン接種記録システムVRS

新型コロナワクチンの際に、自治体が独自でばらばらに記録していた予防接種記録を一つにするため、官邸主導でDXの一貫として始まった記録システムです。自治体での接種実績をVRSにアップロードが必要となるため、市町村コードや接種券番号あるいは接種ロットなど予防接種に関する記録をAPIあるいはCSVにて提出するものと思われます。コロナワクチンからバーコードの付いた接種券が配布されるようになっています。当ワクチンProでもこのシステムを将来的に使えるようにしています。



ボタンを押すとホップオーバーが出ます。(図)接種券のバーコードをスキャンしてください。スキャンが終われば終了ダイアログが出ますので「OK」します。



Vac\_YoyakuListを見ると、備考にクーポン番号と実際にはレイアウトにないですが、青枠のように必要事項が入力されました。(図)



診察したが接種出来ない場合は、一旦診察終了にした後に出来ない方のコードをスキャンします。(図)の様に接種不可の料金が取れる様に「OK」してください。



(図)患者の予防接種可能のマークははずれて(青枠)、Vac\_YoyakuListを見ると、下のレコ

ードに接種不可と備考に接種不可のコードが入力されています。上の黄色枠のレコードは 延期の場合用です。新しい日付を入力してください。



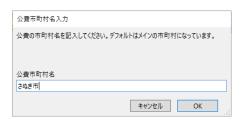
## 公費請求

## 公費請求書を作る

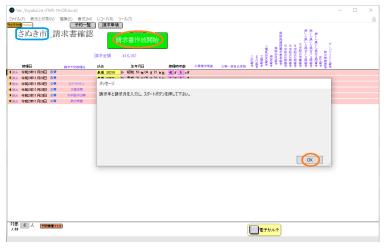
公費請求はVac\_YoyakuList.fmp12から出発します。「公費の検索請求書作成」を押します。ダイアログが出ますので「請求書を押します。」(図)



請求書が必要な市区町村を記入し進めます。(図)



(図)のような画面が出ますので、この場合は表題が「さぬき市」請求書確認」と変化している事を確認して、「請求書作成開始」を押します。請求年と月のダイアログが現れます。



#### 入力しスタートボタンを押します。(図)



(図)の画面になりますので印刷してください。同様に市区町村毎に作成します。



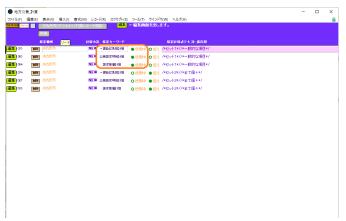
**印刷した請求書は、問診票とそれぞれの接種数が合うか確認**し、指定の表紙と一緒にして 綴じます。

## 公費請求書のための市区町村の公費項目に合った計算式の編集

Vac\_YoyakuList.fmp12の「公費の検索請求書作成」を押すとアラートが出ますので、「計算式」を押します。(図)



市区町村に合った公費請求項目や請求単価計算や一部自己負担が右のフィールド(算定計算式テキスト\_保存用)を元に、後述のフィールド計算で使用されています。使用中のものが実際に使用される計算式です。(図)



#### 予防接種予約\_TABLEのフィールド【請求予防接種名】

If (IsEmpty (公費請求\_請求名\_計算式::連番)=0; Evaluate (公費請求\_請求名\_計算式::算定計算式テキスト保存用): "請求名不明")

#### 予防接種予約\_TABLEのフィールド【公費請求単価】

If ( IsEmpty ( 公費請求\_単価\_計算式::連番 ) = 0; Evaluate ( 公費請求\_単価\_計算式::算定計算式テキスト保存用 ): "0")

#### 予防接種予約\_TABLEのフィールド【公費一部自己負担】

If (IsEmpty (公費請求\_一部自己負担\_計算式::連番)=0; Evaluate (公費請求\_一部自己負担\_計算式::算定計算式テキスト\_保存用); "0")

でそれぞれEvaluate関数にて

算定キーワードの「公費請求項目計算」の算定計算式テキスト\_保存用をもとに【請求予防接種名】が計算され、

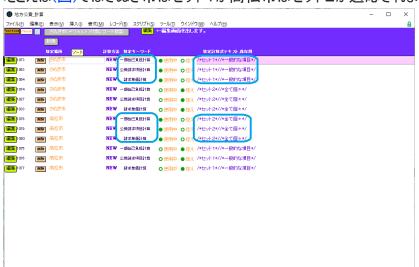
算定キーワードの「請求単価計算」の算定計算式テキスト\_保存用をもとに【公費請求単価】が計算され、

算定キーワードの「部自己負担計算」の算定計算式テキスト\_保存用をもとに【公費一部自己負担】が計算され、

るようになっています。

セット1の公費請求項目計算と請求単価と一部自己負担を組み合わせで使用します。セット2も同様組み合わせです。公費請求項目計算で公費請求項目を設定し、請求単価計算でその項目に合わせ請求額、一部自己負担計算でその項目に合わせ一部自己負担が表示される仕組みになっています。算定場所により計算式セットを別にしてもそれぞれの市町村で計算されます。

たとえば(図)ではさぬき市はセット1が高松市はセット2が適応されます。



ファイルメーカーの計算式に慣れている方は、次項の「実際の計算式の編集と確認」に編集の仕方がありますので編集画面を利用してください。

上手くいかない場合は、全ての市区町村でセット2の組み合わせで「使用中」(その市町村で別のもの、たとえばセット1などその他のものは控えにしてください。)にしますと、各ワクチン毎に集計されます。市町村に合った請求項目で合計して表紙を作ってください。

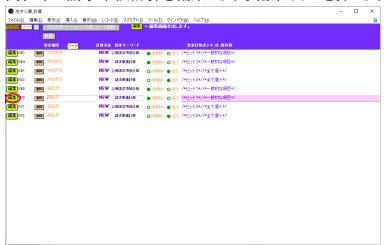
実際の計算式の編集と確認 (1章27項も参照して下さい。)

Vac\_YoyakuList.fmp12の「公費の検索請求書作成」を押すとアラートが出ますので、「計算

#### 式」を押します。(図)



高松市の請求単価計算を編集します。編集ボタンを押します。(図)



計算式編集画面が開きます。(図)

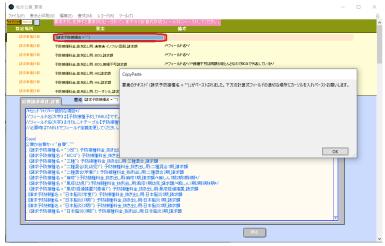


この式が実際のフィールドがEvaluate関数で計算されるようになっています。

青色で囲ったオレンジのボタンは必要な部位にカーソルを合わせた部位に表示の記号が入り

#### ます。

赤色の「要素追加」ボタンを押すと、(図)の画面が現れますので、追加要素を探して要素を押すとダイアログが現れます。コピー&ペーストで必要な場所に貼り付けてください。自分で定義した足りない要素は追加してください。



編集が終われば「貼り付け」の矢印を押してください。(図)上手く計算されると構文確認され、図のようなダイアログになります。



#### 【請求予防接種名】(計算例)

Case関数により上から順番に請求予防接種名が計算されます。

条件式を作り、それに対応する各市区町村の請求予防接種名に対応させるようにしてください。

/\*セット1\*//\*一般的な項目\*/

- //フィールド名(太字)は【予防接種予約\_TABLE】です。
- //必要時はTABLEでフィールド定義変更してください。

## //"青地"内は【請求予防接種名】です Case( (公費か自費か = "自費"): "" //地方公費を1つにしました。 /\*: not (広域 市町名 = "さぬき市"): ""\*/ :(正式予防接種名 = "風疹") and (IsEmpty(風疹経過措置) = 0); "風疹(経過措置対 象者)" ; **正式予防接種名** = "風疹"; "風疹(幼児)" :(**正式予防接種名** = ″日脳″) and (**予防接種時 90 20 学童** = ″学童″): ″日本脳炎″ &"("& **予防接種時 90 20 学童** & ")"/\*2010 日脳請求学童\*/ ;(正式予防接種名 = "日脳") and (IsEmpty(日本脳炎期間別) = 0); "日本脳炎" &"("& 日本脳炎期間別 &")" : (正式予防接種名 = "日脳") and (IsEmpty(日脳期間別予定表から) = 0): "日本脳炎 "&"("& 日脳期間別予定表から&")" ; (正式予防接種名 = "二種") and (GetAsNumber(予防接種時の才) <= 6); "二種混 合(乳幼児)" ;(**正式予防接種名** = "二種"); "二種混合(学童)" :(正式予防接種名 = "MR一期"): "麻しん風しん混合(1·2期)" ;(正式予防接種名 = "MR二期"); "麻しん風しん混合(1·2期)" :(正式予防接種名 = "MR三期"): "麻しん風しん混合(3・4期)" :(正式予防接種名 = "MR四期"): "麻しん風しん混合(3・4期)" :(正式予防接種名 = "麻疹"): "麻しん(1・2期)" ;(正式予防接種名 = "麻疹二期"); "麻しん(1・2期)" ;(正式予防接種名 = "麻疹三期"); "麻しん(3・4期)" ;(正式予防接種名 = "麻疹四期"); "麻しん(3・4期)" :(正式予防接種名 = "風疹"): "風しん(1・2期)" ;(正式予防接種名 = "風疹二期"); "風しん(1・2期)" ;(正式予防接種名 = "風疹三期"); "風しん(3・4期)" ;(**正式予防接種名** = "風疹四期"); "風しん(3・4期)"

:(**正式予防接種名** = "Hib"): "ヒブワクチン"

:(正式予防接種名 = "肺炎球菌"): "肺炎球菌"

:(正式予防接種名 = "HPV"): "子宮頸癌"

;(正式予防接種名 = "単ポ"); "単独ポリオ"

:(**正式予防接種名** = "四種"): "四種混合"

;(**正式予防接種名** = "水痘定期"); "水痘定期"

:(**正式予防接種名** = "HB"); "HB"

: (PatternCount(**正式予防接種名**: "接種不可") > 0): "(未接種)接種不可"

: 正式予防接種名)

#### 【公費請求単価】(計算例)

Case関数により上から順番に請求予防接種名が計算されます。

条件式を作り、それに対応する値を右に配置します。

/\*セット1\*//\*一般的な項目\*/

//フィールド名(太字)は【予防接種予約 TABLE】です。

//値は前ページで求めた請求予防接種名の値です。

//右では市区町村名でリレーショナルした予防接種料金\_抜き出し用の料金に対応させています。

//必要時はTABLEでフィールド定義変更してください。

#### Case(

公費か自費か = "自費"; ""

; (**請求予防接種名** = "ツ反"); 予防接種料金\_抜き出し用::ツ反\_請求額

: (請求予防接種名 = "BCG"): 予防接種料金 抜き出し用::BCG 請求額

; (請求予防接種名 = "三種"); 予防接種料金\_抜き出し用::三種混合\_請求額

; (**請求予防接種名** = "二種混合(乳幼児)"); 予防接種料金\_抜き出し用::二種混合1期 請求額

; (**請求予防接種名** = "二種混合(学童)"); 予防接種料金\_抜き出し用::二種混合2期 \_請求額

; (**請求予防接種名** = "麻疹");予防接種料金\_抜き出し用::麻疹1期\_請求額/\*麻しん1期2期3期4期\*/

; (**請求予防接種名** = "風疹(幼児)");予防接種料金\_抜き出し用::風疹1期幼児\_請求額/\*風しん1期2期3期4期\*/

- ; (**請求予防接種名** = "風疹(経過措置対象者)"); 予防接種料金\_抜き出し用::風疹 経過措置\_請求額
- ; (**請求予防接種名** = "日本脳炎(学童)"); 予防接種料金\_抜き出し用::日本脳炎2期\_ 請求額
- ; (**請求予防接種名** = "日本脳炎(1期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::日本脳炎1期\_請求額
- ;(**請求予防接種名** = "日本脳炎(2期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::日本脳炎2期\_請求額
- ; (**請求予防接種名** = "日本脳炎(3期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::日本脳炎3期\_ 請求額
- ;(**請求予防接種名** = "麻しん風しん混合(1・2期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::麻しん風しん混合1期 請求額/\*1期2期まとめて\*/
- ;(**請求予防接種名** = "麻しん風しん混合(3・4期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::麻しん風しん混合3期 請求額/\*3期4期まとめて\*/
- ; (**請求予防接種名** = "麻しん(1・2期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::麻疹1期\_請求額/\*1期2期まとめて\*/
- ;(**請求予防接種名** = "麻しん(3・4期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::麻疹3期\_請求額/\*3期4期まとめて\*/
- ; (**請求予防接種名** = "風しん(1・2期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::風疹1期幼児\_委 託料/\*1期2期まとめて\*/
- ; (**請求予防接種名** = "風しん(3・4期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::風疹3期\_委託料/\*3期4期まとめて\*/
- ; (**請求予防接種名** = "ヒブワクチン"); 予防接種料金\_抜き出し用::Hib\_請求額
- :(請求予防接種名 = "肺炎球菌"): 予防接種料金 抜き出し用::肺炎球菌 請求額
- ; (**請求予防接種名** = "サーバリックス"); 予防接種料金\_抜き出し用::サーバリックス\_請求額
- :(**請求予防接種名** = "ガーダシル"): 予防接種料金 抜き出し用::ガーダシル 請求額
- ;(**請求予防接種名** = "ロタリックス"); 予防接種料金\_抜き出し用::ロタリックス\_請求額
- ;(**請求予防接種名** = "ロタテック"); 予防接種料金\_抜き出し用::ロタテック\_請求額
- : (請求予防接種名 = "単独ポリオ"): 予防接種料金 抜き出し用::単ポ 請求額

- :(請求予防接種名 = "四種混合"): 予防接種料金 抜き出し用::四種 請求額
- ;(請求予防接種名 = "水痘定期"); 予防接種料金\_抜き出し用::水痘定期\_請求額
- :(**請求予防接種名** = "HB"): 予防接種料金 抜き出し用::HB 請求額
- ; (**請求予防接種名** = "(未接種)接種不可"); 予防接種料金\_抜き出し用::BCG\_接種不可請求額

: "")

#### 【公費一部自己負担】(計算例)

Case関数により上から順番に請求予防接種名が計算されます。 条件式を作り、それに対応する値を右に配置します。

/\*セット1\*//\*一般的な項目\*/

//フィールド名(太字)は【予防接種予約\_TABLE】です。

//値は前ページで求めた請求予防接種名の値です。

//右では市区町村名でリレーショナルした予防接種料金\_抜き出し用の料金に対応させています。

//必要時はTABLEでフィールド定義変更してください。

#### Case(

公費か自費か = "自費": ""

:(請求予防接種名 = "ツ反"): 予防接種料金 抜き出し用::ツ反 自己負担

;(**請求予防接種名** = "BCG"); 予防接種料金 抜き出し用::BCG 自己負担

;(**請求予防接種名** = "三種"); 予防接種料金\_抜き出し用::三種混合\_自己負担

;(**請求予防接種名** = "二種混合(乳幼児)"); 予防接種料金\_抜き出し用::二種混合1期 自己負担

;(**請求予防接種名** = "二種混合(学童)"); 予防接種料金\_抜き出し用::二種混合2期\_ 自己負担

;(**請求予防接種名** = "麻疹"); 予防接種料金\_抜き出し用::麻疹1期\_自己負担/\*麻しん1期2期3期4期\*/

;(**請求予防接種名** = "風疹(幼児)"); 予防接種料金\_抜き出し用::風疹1期幼児\_自己 負担/\*風しん1期2期3期4期\*/

:(請求予防接種名 = "風疹(経過措置対象者)"); 予防接種料金\_抜き出し用::風疹経

過措置\_自己負担

;(**請求予防接種名** = "日本脳炎(1期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::日本脳炎1期\_ 自己負担

;(**請求予防接種名** = "日本脳炎(2期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::日本脳炎2期\_ 自己負担

;(**請求予防接種名** = "日本脳炎(3期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::日本脳炎2期\_ 自己負担

:(請求予防接種名 = "麻しん風しん混合(1・2期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::麻しん風しん混合1期\_自己負担/\*1期2期まとめて\*/

:(請求予防接種名 = "麻しん風しん混合(3・4期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::麻しん風しん混合3期\_自己負担/\*3期4期まとめて\*/

;(**請求予防接種名** = "麻しん(1・2期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::麻疹1期\_自己負担/\*1期2期まとめて\*/

;(**請求予防接種名** = "麻しん(3・4期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::麻疹3期\_自己負担/\*3期4期まとめて\*/

:(**請求予防接種名** = "風しん(1・2期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::風疹1期幼児\_自己負担/\*1期2期まとめて\*/

(**請求予防接種名** = "風しん(3・4期)"); 予防接種料金\_抜き出し用::風疹3期\_自己負担/\*3期4期まとめて\*/

;(**請求予防接種名** = "ヒブワクチン"); 予防接種料金\_抜き出し用::Hib\_自己負担

:(請求予防接種名 = "肺炎球菌"); 予防接種料金\_抜き出し用::肺炎球菌\_自己負担

(**請求予防接種名** = "サーバリックス"); 予防接種料金\_抜き出し用::サーバリックス\_自己 負担

(**請求予防接種名** = "ガーダシル"); 予防接種料金\_抜き出し用::ガーダシル\_自己負担 (**請求予防接種名** = "ロタリックス"); 予防接種料金\_抜き出し用::ロタリックス\_自己負担 (**請求予防接種名** = "ロタテック"); 予防接種料金 抜き出し用::ロタテック 自己負担

:(請求予防接種名 = "単独ポリオ"); 予防接種料金\_抜き出し用::単ポ\_自己負担

:(請求予防接種名 = "四種混合"); 予防接種料金\_抜き出し用::四種\_自己負担

:(請求予防接種名 = "水痘定期"); 予防接種料金\_抜き出し用::水痘定期\_自己負担

;(**請求予防接種名** = "HB"); 予防接種料金\_抜き出し用::HB\_自己負担

;(**請求予防接種名** = "(未接種)接種不可"); 予防接種料金\_抜き出し用::BCGのみ\_自 己負担

; "")

### 期間のワクチン本数を求め発注する

## 必要本数を出す

Vac\_YoyakuList.fmp12の下段を使用します。

まずは現在の在庫数を入力します。(入力前に前回データーが残っていましたら、在庫消去ボタンを利用) 例ではインフルエンザの100本の在庫が入力されています。期間の使用量を出すために期間\_開始日と期間\_終了日を入力します。次に本数計算ボタンを押します。

#### (図)



その期間に必要なワクチンの数が表示されています。例のインフルエンザは100本の在庫があり足りない本数が71本とででいます。このままで良ければ「在庫入力し期間内の発注」ボタンを押します。(図)



ダイアログ(図)が出ますのでOKを選択します。

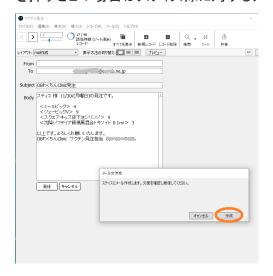


先ほどの発注数が表示されています。続いて「Step2発注メール作成」ボタンを押します。

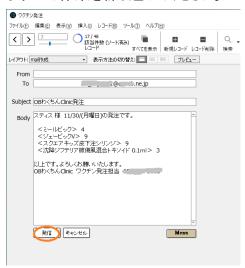


#### 発注メール

発注メール作成になります。ダイアログで「作成」を押すと下の作成に入ります。(「キャンセル」を押すとこの場合はスティス様に対するメールは送られません。)(図)



「発信」を押すと本日付けで発注メールが送信されます(図)。発注が必要な会社が次々出ますので作業を繰り返してください。



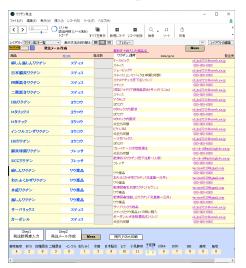
メールが終わればダイアログ(図)が出ます。控えの印刷がほしい場合は印刷してください。



最後にダイアログが現れます(図)のでどちらでも選んでください。



この場合は「全消去」を選んでいます。(図)



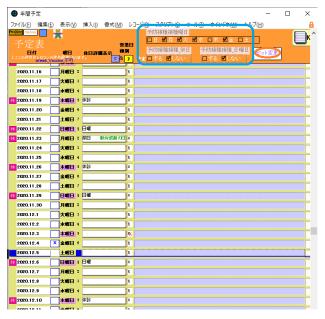
## 時々の作業

医療機関の接種日をする曜日などを変更する。

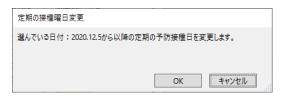
わくちんのメニューの「クリニック予定」を押します。(図)



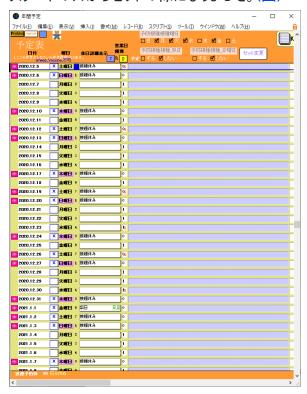
予定表が現れます。上段の青枠をセットします。たとえば接種日を、月火水金にします。祭日と日曜日をするしないを設定してください。(図)終われば、変更したい日付を選んで、「セット変更」ボタンを押します。



ダイアログが現れます(図)ので良ければ「OK」を押します。

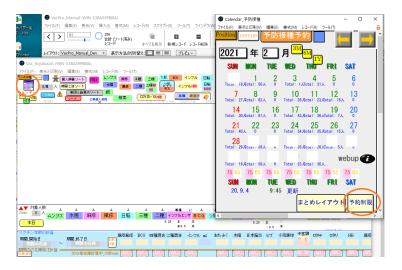


スタートの日からセットの様になりました。(図)



# 医療機関のWebDirestでの時間枠を設定する

予防接種予約一覧のカレンダーを開け、「予約制限」をクリックします。(図)



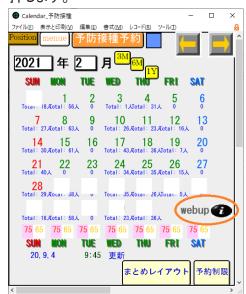
(図)のように曜日と時間毎の受付可能と人数をセットします。

青枠は月曜日の11:00~11:30は受付可能「1」で人数は「5」人を意味します。

赤枠は木曜日の2:00~2:30は受付不可能「0」で人数は「5」人を意味します。(受付不可能が優先します。)



セットが終われば「カレンダー」アイコン(図)を押して戻ります。カレンダー右下の「webup i」を押します。



ダイアログがでます(図)のでここでは「1ヶ月分」を選択しました。1ヶ月分の予約の予防接種人数が計算され.

Vac\_publicに予約の出来る時間と人数が渡されます。



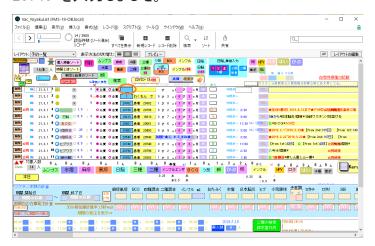
最後にのダイアログ(図)が出ますので「元に」を選らんで戻ります。

### 予測から予約

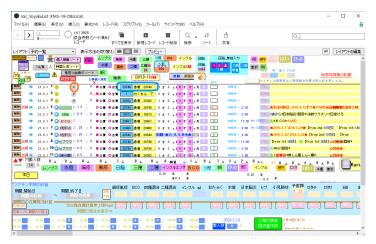
作者が25年間開業医時代にした9万件のワクチンを元にしています。

過去の予防接種状況やVac\_kojinに記録された問診を加味して「AI予測」され、その日付で考えられるワクチンをリストアップします。

カレンダーで日付を選択します。例では2021年3月1日を選択しています。(図)カルテ番号 20740 を入力しました。



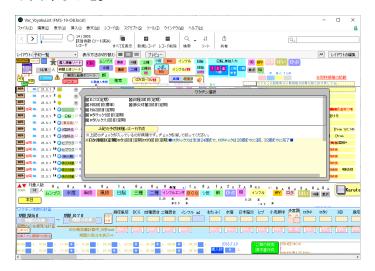
(図)(上記のワクチンボタンではそれぞれのワクチンが回数分規定の間隔を開けて入力出来ます)今回はその日付で考えられるワクチンを予測してもらいます。ワクチンを選択していない行にはワクチン入力部位の右横に「V(Vaccine)」ボタンが現れますので押します。



(図)のようなホップアップが出ます。上半分は最初の元のワクチン選択、下半分にワクチンの注意事項が出ます。上半分を選択すると同ワクチンで必要のない回数が取り除かれます。同時ワクチンをチェックをはずして選択します。BCGとロタテック1回目を外しました。



(図)その後真ん中の「上記の予防接種レコード作成」を押します。チェックの入った5レコードが出来ました。



その後真ん中の「上記の予防接種レコード作成」を押します。チェックの入った5レコードが出来ました。(図)(再ソートのため順番は変わってますが)



### 接種時間

## 接種時間の設定 デフォルトの変更

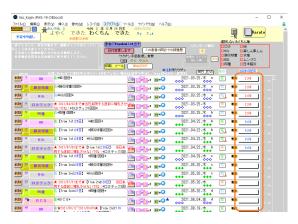
特別な設定をしていない場合は(図)のように右側は「」(空白)か「手動で」になっています。



ポップアップメニュになっていますのでクリックすると時間がポップアップされますので、選択してください。(図)



同日のワクチンは同じ時間になります。(図)



現在は「手動で」になっていますが、設定を変えたいときはVac\_Kojinのスクリプト

「【わくちん】接種時間\_step2\_時間選択機能\_【医療機関 優先時間帯設定】」で変更してください。

# 内科仕様レイアウト

## NEW内科仕様のボタン配置に変更

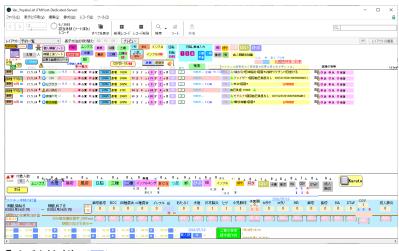
内科の先生は、新型コロナ、成人用肺炎球菌、インフルエンザがメインになるので、この種の ボタンを左に配置させるための設定を作っています。

(図)わくちんメニューの赤枠にチェックボックスがあり、「小児科仕様」「内科仕様」を施設毎に 設定してください。

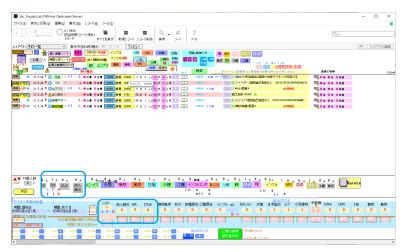


Vac\_YoyakuListでのボタン配置

#### 「小児科仕様」(図)



「内科仕様」(図)



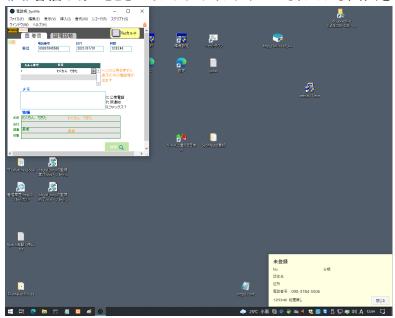
上記のワクチンが左に配置されています。

# 電話着信機能

# (ひかり電話) ver2. x. x以降

# ガンジスのCTI利用

(図)着信があったときのガンジスがインストールされている画面を示しています。



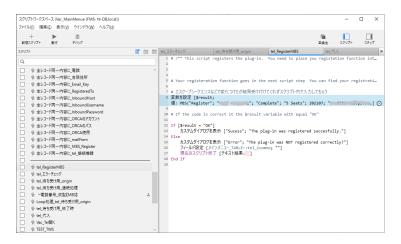
左上が、Vac\_Telの現在の着信データーです。右下はガンジスデータのデータベースでのポップアップになりますが、ここではガンジスでの登録はありませんので電話番号のみ表示となります。

## (ISDN)

# ターミナルアダプタとUSB接続しているクライアントで

ファイル Vac\_Telにて

スクリプトワークスペース>tel RegisterMBS(図1)



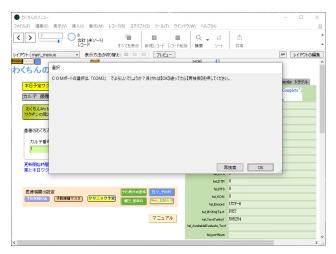
入力\_MBSRegisterに規則に従って(MBSプラグイン参照)
MBS("Register"; "Name"; "Window"; "5 seats"; 200803;11111111111)
の形式で()の中の内容を埋めます。(準備 MBSプラグインを参照)
SerialPortボタンを押す。(図)



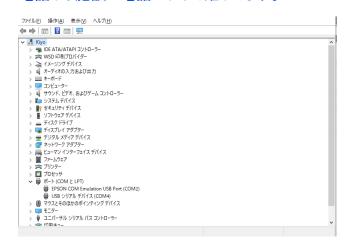
プラグインの登録に成功している旨のダイアログが出ます。(失敗したときはここで止まります。)「OK」を押します。(図)



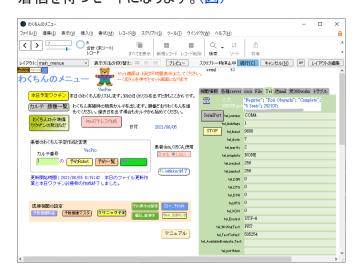
使用できるポートを大きい順に探していきます。(図)



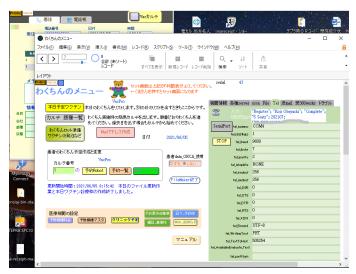
Windowsではデバイスマネージャーを開くとポートの所に出ていますので、そのポートが出るまで再検索します。(この場合はCOM4)(図)※分からない場合は順番に携帯電話など他の電話から施設の電話にかけて確かめます。



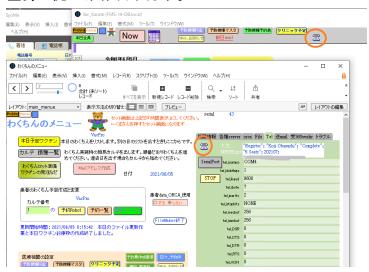
### 着信を待つモードになります。(図)



電話がかかるとうしろに隠れている着信画面が前面に出ます。(図)



他ののクライアントで「わくちんのメニュー」かVac\_Karuteの電話ボタンを押す(図)と未登録や登録に従って画面が出ます。



# (ひかり電話とISDNの両方)

#### <未登録の場合>

電話ボタンを押したとき、(図)のような着信番号不明の画面が現れます。

間違い電話や勧誘電話は右の該当の項目にチェックを入れます。

発信者番号を電話帳に追加して、次回に表示させたいときは赤枠の発信者追加のプラスボタンを押します。



#### (図)

上段(青枠)の青枠は患者以外の(たとえば業者など)の電話登録です。必要事項を記入して上段の追加\_プラスボタンを押します。

下段(緑枠)は患者の登録です。カルテ番号を入力し、プラスボタンを押します。



<登録済みの場合>

たとえば、患者番号10000を登録した場合は、(図)のようになります。



未登録画面ではなく、(図)の登録済みの電話帳が開きます。上記(青枠)を使うと左の予防接種ボタンで、患者の登録済みの予防接種が出たり、新しい予約が出来ます。兄弟姉妹は保険記号番号でまとめられたものが一覧になっています(緑枠)ので利用してください。

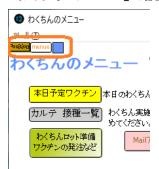


### ワクチンProの共通の部品

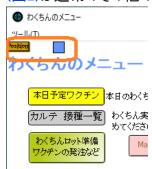
## positionボタン ウインドウ(画面)の位置や大きさを記録

左上のボタンは各種のウインドウで共通の機能を持っています。通常のクライアントでは機能制限があります。

「わくちんのメニュー」で説明します。(図)は完全アクセス権で開いたときの画面です。



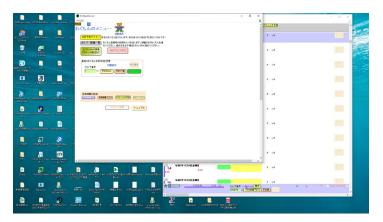
(図2)は通常のその他のアクセス権のクライアントで見たものです。



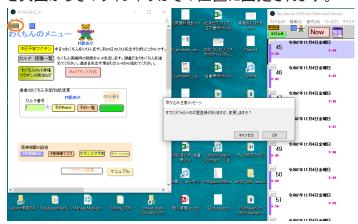
注目→positionボタンはその人が使いやすいウインドウの位置や大きさを記録

しておくことが出来ます。次のオープン時にはアカウント毎にそのウインドウで好み の位置と大きさに表示されます。

最初に(図)のように表示されていたとします。右のカルテウインドウに重ならないように左上に持って行きpositionボタンを押します。



初めての時は何もなく記録されますが、2回目以降はダイアログが出ます。(図)「OK」を押すと次回からそのウインドウはその位置に固定されます。



menueボタン 使用できるメニューを出す

menueボタンはアクセス権で制限されたメニューを出します。完全アクセス権ではすべてフリーとなりますのでレコード削除、全レコード削除、全置換など出来ますので慎重に作業するようにしてください。

最初に(図)は初期の画面でメニューの位置にはツールしかでていませんが、



menueボタンを押すと使用できるメニューが出ます。(図)



## 青い■ボタン ステータス出す

(図)は初期の画面です。



■ボタンを押すと使用できるファイルメーカーのステータスが出ます。(図)



### ワクチンサイト

# WebDirect メイン https://ホスト名/fmi/webd/Vac\_WD\_public

ワクチンProでは、FileMakerのWebDirect機能を使用してVac\_WD\_publicを通常のブラウザで公開出来るようにしています。当サイトではデフォルトで

- 1. メール会員の登録変更
- 2. Web予約
- 3. あなたの予防接種
- 4. クリニック情報
- 5. 現在の求人

#### 5つの部門を扱っています。(図)



#### 1. メール会員の登録変更

患者側からのメールの登録や変更サイトです。個人のメールがアカウントして登録され、パスワードが個人で管理出来ます。

#### 2. Web予約

設定(当日内や1週間以内といった設定)の日付内で接種日の日付時間が予約変更出来ます。

#### 3. あなたの予防接種

患者さん自身の予約や接種履歴を見ることが出来ます。

#### 4. クリニック情報

クリニックからのお知らせ、診療案内、クリニック紹介ページが表示出来ます。

#### 5. 現在の求人

サイトでの求人コーナーを作っています。

#### 注意

WebDirectで表示するので、サーバーに負担がかかります。医療機関に合わせて Vac\_WD\_publicのレイアウト変更必要ですが、凝ったレイアウトにしないようにお願いいたします。

# メール会員の登録変更

メイン画面の「メール会員の登録や変更」をクリックします。(図)



カルテ番号、ひらがなで氏名、メールアドレス、生年月日を入力し「登録」を押します。(図)



(送信されました。確認し、入力のメールアドレスに返事差し上げます。)の表示が出ます (図)。これで登録完了です。



### サーバー再度でメールの確認をして、返事が発信されます。(図)(デフォルトでは3分毎)

# Web予約

### メイン画面の「Web予約」をクリックします。(図)



#### 診察券ありを押します。(図)



カルテ番号と生年月日を入れて次へを押します。(図)



### 新規予約を押します。(図)



### 予防接種外来を押します。(図)



空いている時間が表示されています。16時台を押してみます。(図)



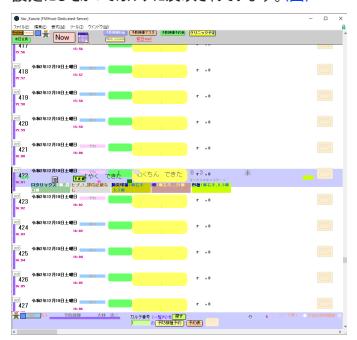
16時台の空いている時間が表示されています。16:01を押しました。(図)



予約日と予約時間の表示が出ました。終了です。(図)



設定にしたがってカルテに反映されています。(図)



# あなたの予防接種

メイン画面の「あなたの予防接種」をクリックします。(図)



Vac\_WD\_privateを開いてください。と表示が出て、(図)

Vac\_WD\_private を開いてください。

数秒後にWebDirectの表示が出ますでVac\_WD\_privateを押してください。(図)



設定したアカウントパスを入力してください。一番最初はアカウントパスともに初回登録時のメールアドレスです。(図)



初めての時には「パスワード変更」が出ます。(図)



### ワクチン予定表を押します。(図)



### 同じアカウントパスで登録した兄弟も出ています。該当の患者を押します。(図)



### 患者の予定表が出ました。(図)



# クリニック情報 レイアウト変更してください

メイン画面の「クリニック情報」をクリックします。(図)



クリニック情報の画面になります。例としてお知らせ、診療案内、クリニック情報などのボタンがあります。(図)



お知らせ画面を開くと、お知らせのリストが開きます。(図)



頻繁に変更が必要なコーナーですので、「わくちんのメニュー」のWeb\_お知らせを開いて編集してください。(図)>(図)

編集が終わればWebのUPを押すと、設定の時間後(初期3分後)に反映します。



診療案内、クリニック情報の医療機関に合わせてレイアウト変更をお願いします。

# 現在の求人 レイアウト変更してください

メイン画面の「現在の求人」をクリックします。(図)ボタンを押してレイアウトを変えます。



# レイアウト変更が時間的に間に合わないときの処置

「わくちんのメニュー」のFileタブを開いて、Vac\_WD\_publicを開きます。(図)



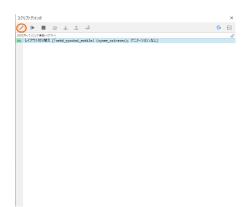
### 例;クリニック情報ボタンを機能させなくする方法 FileMakerメニューの、ツール>スクリプトデバッカ(図)でデバックを出し、



### (図3)のようにステップインしてください。



図4)のスクリプト編集ボタンでスクリプトワークスペースを出します。



(図5)のようにスクリプトの1行目に「現在のスクリプト終了」を加えるとクリニック情報ボタンは機能しなくなります。



同様に現在の求人や進行状況にあわせて、クリニック情報を押した後のボタンも同様に編集が完了していないボタンは機能しないようにしてください。